

人が輝く まちが輝く  
サンライズリゾート よなばる



## 与那原町観光実施計画

平成 30 年 2 月

与 那 原 町

# 目 次

【頁】

## 第 1 章 与那原町観光実施計画策定の意義 ..... 1

- 1. 1 観光実施計画策定の目的 ..... 1
- 1. 2 与那原町における観光振興の意義 ..... 2
- 1. 3 与那原町観光実施計画の位置づけ ..... 3
- 1. 4 計画期間 ..... 3

## 第 2 章 与那原町の観光を取り巻く現状と課題 ..... 5

- 2. 1 与那原町の概要 ..... 5
- 2. 2 国内外及び沖縄県の観光動向 ..... 9
- 2. 3 与那原町の観光の現状と課題 ..... 17

## 第 3 章 与那原町の観光振興基本理念 ..... 19

- 3. 1 基本理念 ..... 19
- 3. 2 メッセージ ..... 20

## 第 4 章 与那原町観光実施計画 ..... 21

- 4. 1 観光実施計画の目標（与那原町の観光の 5 年後のあるべき姿） ..... 21
- 4. 2 目標達成に向けた 3 つの重点事項 ..... 22
- 4. 3 基本戦略と施策の方針 ..... 23
- 4. 4 観光実施計画の施策 ..... 31
- 4. 5 取組の効果を検証するための目標水準 ..... 57

## 第 5 章 概算事業費の算出 ..... 60

## 第 6 章 推進体制 ..... 63

- 6. 1 与那原町観光実施計画の推進体制 ..... 63
- 6. 2 与那原町及び周辺地域における観光推進体制強化 ..... 64

## 参考資料



# 第1章 与那原町観光実施計画策定の意義

## 1. 1 観光実施計画策定の目的

本町は、沖縄本島東部地域に位置し、かつては軽便鉄道や山原船が行き交う陸上海上交通の要衝として栄えた貴重な歴史があります。

中城港湾マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区に、新たな市街地が形成され、定住人口の増加とともに、沖縄南部観光の結節点として、交流人口の増加等による地域活性化が期待されています。

観光を取り巻く環境の変化としては、近年、沖縄県に対する観光客の増加は著しく、国内旅行者のリピート率は8割を超え、外国人観光客の伸び率は非常に顕著となっております。

また、本町内部の変化としては、マリンタウン地区への大型 MICE 施設の整備が決定しており、新たな交流人口の創出に期待が持たれております。

このような内外の様々な環境変化が見込まれる中、観光がもたらす活力を本町に取り込み、かつての本町の歴史・文化や豊かな自然環境を活かした活気と賑わいのあるまちづくりが求められています。

ツーリズム産業は、宿泊施設や教育機関、広告業等の様々な分野の産業と連携している総合産業となっており、ツーリズム産業が地域にもたらす効果は裾野が広く、多面的であるといわれています。

そこで、今後の本町の地域活性化を推進する計画として、観光振興に焦点を合わせ、沖縄の東海岸地域、南部地域を視野に入れて与那原町観光実施計画を策定します。

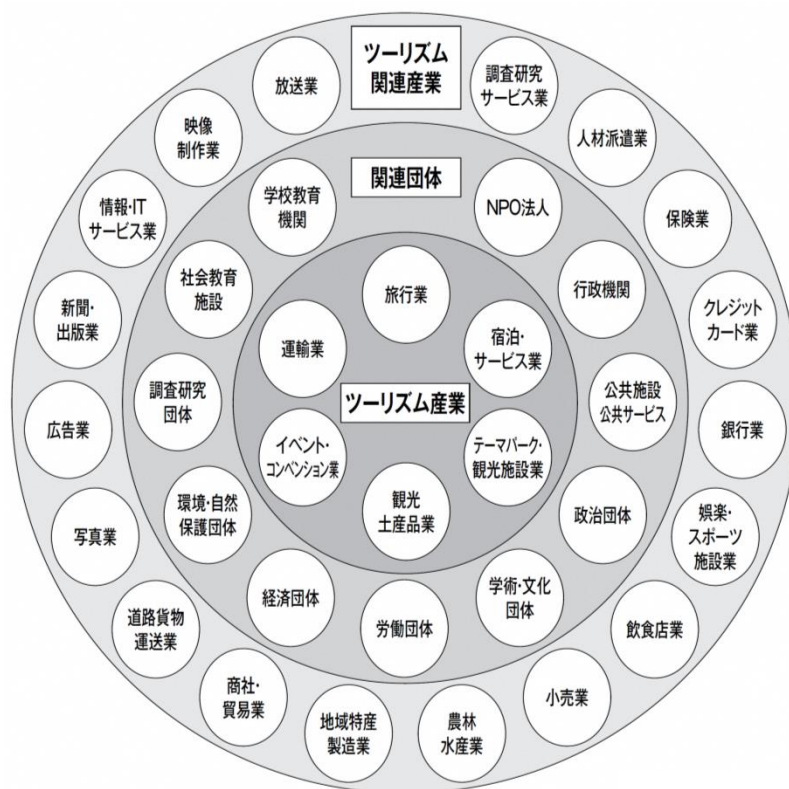


図 ツーリズム産業の範囲

出典：「数字で見る観光 2012」（（社）日本観光振興協会）

## 1. 2 与那原町における観光振興の意義

### (1) 与那原町の地域特性を活かした魅力ある観光プログラムの提供による地域活性化

本町内には、史跡・名所等の多くの歴史文化的な観光資源があります。また、マリントウン地区においては、与那原マリーナや東浜の水路といった観光資源がありますが、どれもこれまで十分に活用されてきていない現状にあります。

これらの地域特性を活かして観光プログラム化することにより、地域への滞在時間の延長を図り、地域消費の拡大が期待できます。

### (2) 沖縄県のMICE開催拠点としての与那原町の知名度向上

MICE の受入は経済効果に加えて、社会的効果（教育効果、異文化理解等）が期待されており、MICE 施設整備後は、県と一体となって、MICE を目的に本町に訪れる方々に提供する観光メニューを整備し、本町ならではの体験を通して消費の拡大を図る必要があります。

町内の事業所においては、大型 MICE 施設から波及する産業による需要を獲得し、雇用の創出を図ることが重要です。

さらには、学校や観光ガイド等と連携し、外国人の対応を含めた観光人材の育成に努め、来訪者に対するおもてなしの向上を図ることが期待されます。

### (3) 周辺地域連携による東海岸地域活性化

沖縄県が整備を進めている大型 MICE 施設の受入に伴い、西原町、中城村、北中城村との4町村で、「東海岸地域サンライズ推進協議会」を結成し、大型 MICE の施設や周辺整備も含めた一体となったまちづくりを進めております。また、本町周辺7市町村では、大型 MICE 施設建設地に面する中城湾の広域的な地域振興を図るために「中城湾地域振興協議会」が設立されました。

このように東海岸側の連携が進められており、周辺地域と連携した需要の創出や受入の推進が期待されます。



### 1. 3 与那原町観光実施計画の位置づけ

本計画は、第4次与那原町総合計画（平成23年～平成31年）に掲げるまちの将来像「太陽とみどり、伝統とやさしさを未来へつなぐ海辺のまち」を実現するための観光分野の個別計画として位置づけます。

大型 MICE 施設の建設決定を受け、近年の環境の変化を加味した上で新たなビジョンを定め、数値的な成果目標やターゲットも追加し各施策を実現するための具体的な取組を記したアクションプランを策定します。

＜「観光実施計画」の位置付け＞



### 1. 4 計画期間

本ビジョンの期間は、2018（平成 30）年度から 2022（平成 34）年度までの 5 年間とします。本町を取り巻く社会情勢や観光動向などに変化があった場合は迅速に対応し、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

◆「与那原町観光計画（平成25年12月）」と「与那原町観光実施計画」との関係

スケジュールの凡例  
短期：1～3年、中期：3～5年、長期：5～10年

| 平成25年12月 与那原町観光計画                    |                                                                                    |                                            |                     |                           |           |           |    |    |        |    |                        |                                          |                                              | 与那原町観光実施計画                     |  |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------|---------------------------|-----------|-----------|----|----|--------|----|------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------|--|
| 基本目標                                 |                                                                                    | 基本方針                                       | 施策                  |                           | 取組主体      |           |    |    | スケジュール |    |                        | 進捗状況（平成29年3月現在）                          | 基本戦略                                         |                                |  |
|                                      |                                                                                    |                                            |                     |                           | 行政<br>（県） | 行政<br>（町） | 民間 | 地域 | 短期     | 中期 | 長期                     |                                          |                                              |                                |  |
| ①沖縄南部地域の新たな観光拠点にふさわしい観光地づくり          |  | ①マリンタウンにおける滞在型観光を推進するための受け皿づくりとプログラムの強化    | ◆ハード施策              | 1-1.橋梁整備                  |           | ○         |    |    | ■      |    |                        | ◎                                        | 港東浜線橋梁が供用開始済み（くじら橋 幅員12m）知念高校側から東浜への橋梁       | （対応なし）※実施済み                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 1-2.県のマリンタウン計画            | ○         |           |    |    | ■      | ■  | ■                      | △                                        | 大型MICE施設建設予定                                 | 【戦略4】 MICE活用                   |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◇ソフト施策              | 1-3.マリンレジャーの検討            |           |           | ○  |    |        | ■  | ■                      | ○                                        | きらきらビーチにて実施中、マリーナでのプログラム開発検討                 | 【戦略3】 マリンレジャー                  |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◇ソフト施策              | 1-4.アガリティータダを見るプログラムの検討   |           |           | ○  | ○  |        | ■  | ■                      | ▲                                        | （未定）                                         | 【戦略3】 マリンレジャー                  |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◇ソフト施策              | 1-5.リゾートウェディングの検討         |           |           | ○  |    |        | ■  |                        | ▲                                        | （未定）                                         | （対応なし）                         |  |
| ②東浜水路を活用した観光拠点の形成と充実したプログラムの提供       |                                                                                    | ◆ハード施策                                     | 2-1.護岸整備及び遊歩道整備     | ◎                         | ○         |           | ○  | ■  | ■      | ■  | ○                      | 整備中、御殿山青少年広場背後の遊歩道整備済み                   | 【戦略3】 マリンレジャー                                |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◆ハード施策                                     | 2-2 水質浄化プログラムの実施    |                           | ○         |           |    | ■  | ■      | ■  | ○                      | 平成29年度から事業開始（5年計画）                       | 【戦略3】 マリンレジャー                                |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 2-3.親子ウォーキング大会の実施   |                           | ○         |           | ○  | ■  |        |    | ○                      | てくてくウォーキング大会にて毎年実施中                      | （対応なし）                                       |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 2-4.既存の倉庫や建物の活用     |                           | ○         | ○         | ○  |    |        | ■  | ○、△                    | 倉庫活用は未定。軽便与那原駅舎復活まつりにてプロジェクトマッピング活用でアピール | 【戦略2】 歴史&文化                                  |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 2-5.水路沿いでオープンカフェ    |                           |           | ○         |    |    |        | ■  | ▲                      | （未定）                                     | 【戦略3】 マリンレジャー                                |                                |  |
| ②与那原の自然・歴史・風土が育んだ芸能・文化等を体感する与那原観光の構築 |                                                                                    | ③歴史・文化を知り学ぶための拠点形成と、旧市街の魅力を再発見し歩いて楽しいまちの実現 | ◇ソフト施策              | 2-6.舟運プログラムの実施            |           | ○         |    |    |        | ■  |                        | △                                        | 水路にて定期的なカヌー体験を開始予定、遊覧船は未定                    | 【戦略3】 マリンレジャー                  |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-1.御殿山の環境整備              |           | ○         |    |    | ■      |    |                        | ▲                                        | 基本構想整備済み                                     | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-2.親川の環境整備               |           | ○         |    |    | ■      |    |                        | ▲                                        | 基本構想整備済み                                     | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-3.三津武嶽の改修・展望台の整備        |           | ○         |    |    | ■      |    |                        | ▲                                        | 基本構想整備済み                                     | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-4.駐車場の新規整備及び既存駐車場の活用の検討 |           | ○         | ○  |    | ■      |    |                        | ○                                        | 上の森公園内に整備済み、今後、増設が必要                         | 【戦略5】 暮らしやすい                   |  |
|                                      |                                                                                    | ③住民参画による来訪者へのおもてなしの体制づくりと人材育成              | ◆ハード施策              | 3-5.軽便鉄道与那原駅の駅舎復元         |           | ○         |    |    | ■      |    |                        | ◎                                        | 整備済み。指定管理により運用中                              | 【戦略2】 歴史&文化（活用促進を記載）           |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-6.大網曳倉庫・作業場整備           |           | ○         |    |    | ■      |    |                        | ◎                                        | 平成29年4月に完成                                   | （対応なし）※実施済み                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-7.観光交流施設整備              | ○         |           |    |    | ■      |    |                        | ◎                                        | 整備済み。指定管理により運用中                              | 【戦略5】 暮らしやすい（スポーツツーリズム・観光危機管理） |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-8.まちあるきスポットの整備          | ○         | ○         |    |    |        | ■  |                        | △                                        | 計画中                                          | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-9.サイクリングロードの整備          |           | ○         |    |    | ■      | ■  | ■                      | ▲                                        | ロード及びレンタサイクル検討                               | 【戦略5】 暮らしやすい                   |  |
|                                      | ④沖縄南部地域の各観光拠点と連携した観光ネットワークづくりと情報発信                                                 | ④新たな観光ニーズの掘り起こしに対応した多種多様なコンテンツの提供          | ◆ハード施策              | 3-10.網曳資料館のリニューアル         |           | ○         |    | ○  |        |    | ■                      | ▲                                        | 委員会にて検討中                                     | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 3-11.まちなみ環境の整備            | ○         | ○         | ○  | ○  |        | ■  | ■                      | △                                        | 景観条例の制定により実施予定                               | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◇ソフト施策              | 3-12.まちあるきプログラムの推進        |           | ○         | ○  | ○  | ■      | ■  |                        | ○                                        | まちあるきガイドの育成及びまちあるきコース造成済み。ガイド認定者20名。実質活動者10名 | 【戦略2】 歴史&文化                    |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 4-1.観光情報発信施設の整備           |           |           |    |    | ■      |    |                        | ○                                        | 電光掲示板（4施設）等実施済み。ICT活用による情報発信を整備済み            | 【戦略1】 情報発信                     |  |
|                                      |                                                                                    |                                            | ◆ハード施策              | 4-2.キャンプ場の検討              |           | ○         |    |    |        |    | ■                      | ▲                                        | 今後5年での事業化は難しいため今後の検討課題                       | （対応なし）                         |  |
| ⑤食や特産品等、新たな与那原ブランドの開発                |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 4-3.地域活性化イベントの支援事業  |                           | ○         |           |    | ■  | ■      | ■  | ○                      | ちゃんぶるー市や軽トラ市等のイベント支援実施中                  | 【戦略2】 歴史&文化                                  |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 4-4.サンゴの移植          |                           | ○         |           |    |    | ■      |    | ◎                      | 実施済み                                     | （対応なし）※実施済み                                  |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 4-5.民泊の取り組みの推進      |                           |           |           | ○  | ■  |        |    | ○                      | 取組継続中                                    | 【戦略5】 暮らしやすい                                 |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 4-6.磯遊びの充実          |                           |           |           | ○  | ■  |        |    | ▲                      | 今後の検討課題                                  | （対応なし）※実施済み                                  |                                |  |
|                                      |                                                                                    | ◇ソフト施策                                     | 4-7.運玉森での体験プログラムの検討 |                           |           |           | ○  | ■  | ■      |    | ▲                      | 今後5年での事業化は難しいため今後の検討課題                   | （対応なし）                                       |                                |  |
|                                      | ◇ソフト施策                                                                             | 4-8.体験（市民）農園等のグリーンツーリズムの実施                 |                     |                           |           | ○         | ■  | ■  |        | ◎  | 大見武に町民農園整備済み           | （対応なし）※実施済み                              |                                              |                                |  |
|                                      | ◇ソフト施策                                                                             | 4-9.水陸両用車による海上観光の検討                        |                     |                           | ○         |           | ■  |    |        | ▲  | 今後5年での事業化は難しいため今後の検討課題 | （対応なし）                                   |                                              |                                |  |
|                                      | ◇ソフト施策                                                                             | 4-10.各種媒体への情報発信                            |                     |                           |           | ○         |    |    | ■      | ◎  | 与那原ナビ                  | 【戦略1】 情報発信                               |                                              |                                |  |
|                                      | ◆ハード施策                                                                             | 5-1.人工的ひじき生息環境の整備                          |                     | ○                         |           |           |    |    | ■      | ▲  | 今後の検討課題                | （対応なし）※実施済み                              |                                              |                                |  |
|                                      | ◇ソフト施策                                                                             | 5-2.赤瓦を使った新しい商品の開発                         |                     |                           | ○         |           | ■  | ■  |        | ◎  | 実施済み                   | （対応なし）※実施済み                              |                                              |                                |  |
|                                      | ◇ソフト施策                                                                             | 5-3.与那原そばのブランド化と新たな特産品の開発                  |                     |                           |           | ○         | ■  | ■  |        | ▲  | （未定）                   | 【戦略2】 歴史&文化                              |                                              |                                |  |
|                                      | ◇ソフト施策                                                                             | 5-4.地産地消を推進する取り組み                          |                     |                           | ○         |           |    | ■  | ■      | ▲  | （未定）                   | 【戦略3】 マリンレジャー                            |                                              |                                |  |

実施済み→◎ 実施中→○ 実施予定→△ 未実施・未定→▲

## 第2章 与那原町の観光を取り巻く現状と課題

### 2. 1 与那原町の概要

#### (1) 地勢・歴史・人口・産業

##### 1) 与那原町の位置及び歴史

本町は沖縄本島の南部東海岸に面し、那覇市の東約 9km に位置し、周辺には南城市、西原町、南風原町が隣接しています。

町面積は約 5.18km<sup>2</sup>で、沖縄本島で1番小さな町です。地形は海岸に沿って低平地が広がり、背後は丘陵地となっており、北側には運玉森（標高 158m）、南側には雨乞森（標高 132m）が位置しています。

交通アクセス面では、主要幹線道路の国道 329 号と国道 331 号が交差する位置にあり、沖縄県の玄関口である那覇市まで車で約 30 分圏内です。

中城湾は天然の良港を有し、沖縄本島北部（山原）から林産物を運んできた山原船の港町として栄えてきました。

戦後は港の機能は失われましたが、現在も国道、県道を結ぶ与那原の交差点を中心に、東海岸地域における陸上交通要衝の地として発展し、近年は中城湾の埋め立てにより、マリントウン地区として新たなまちづくりを進めています。

<与那原町の位置>

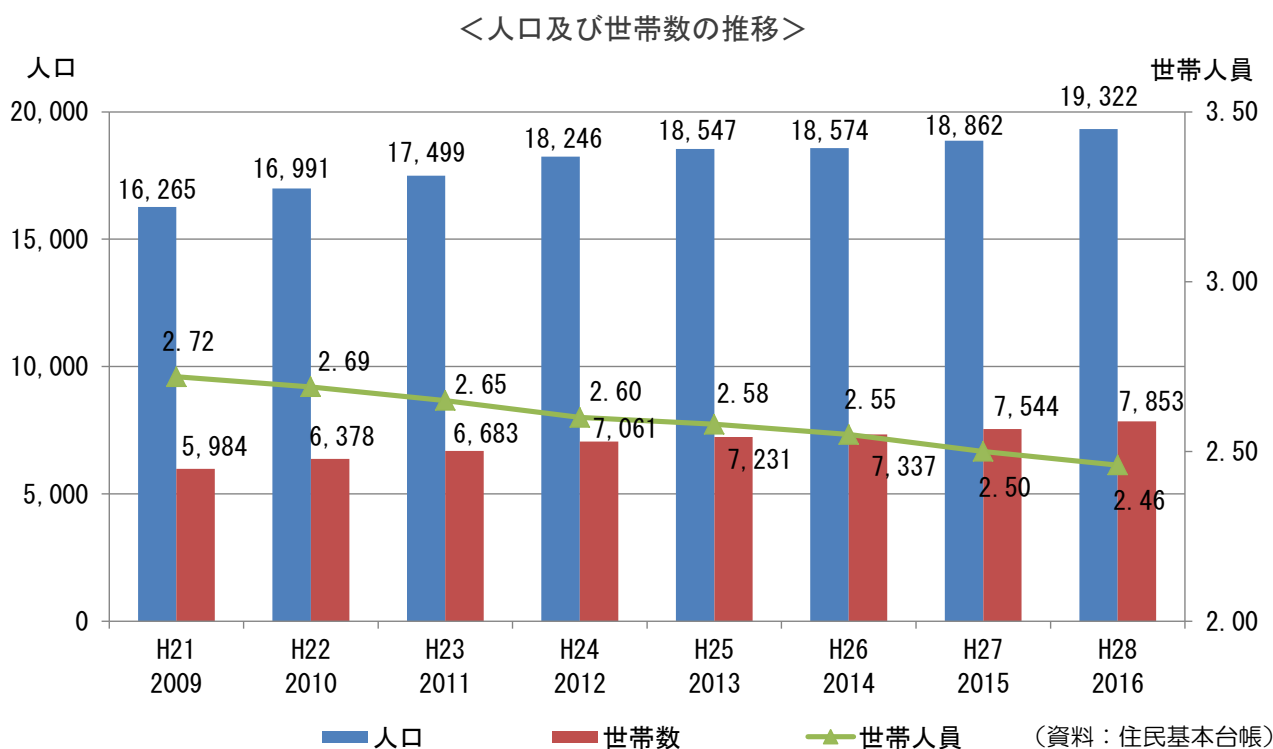




## 2) 与那原町の人口及び産業

本町の人口（住民基本台帳 平成 21 年度～平成 28 年度）は、平成 21 年度の 16,265 人から漸次増加傾向で、平成 28 年度には 19,322 人で 3,057 人増加（約 1.1 倍）と安定しています。

また、世帯数は、平成 21 年度の 5,984 戸から平成 28 年度の 7,853 戸と増加傾向にあり、世帯人員は、2.72 人から 2.46 人と減少傾向にあります。



本町の産業は、水産業の沖合・沿岸漁業やひじき収穫が行われ、農業のさとうきび栽培やゴーヤー等の野菜栽培、マンゴー等の果樹栽培等が行われています。特に天然ひじきは本町を代表する特産品であり、年間約 55 トンの収穫量は県内一位となっています。

また、本町は沖縄ブランドである「赤瓦」の産地であり、県内の赤瓦の約 9 割が本町で作られています。

「天然ひじき」や「赤瓦」は、本町のお土産品としても加工され、本町の代表的なお土産となっています。

その他、戦前に沖縄南部で交通の要所であった本町は沖縄そばのメッカであったことから郷土料理として「与那原そば」が有名となっています。



特産品の天然ひじき



与那原町の赤瓦



天然ひじき



赤瓦コースター



郷土料理「与那原そば」

本町では、特産品や歴史を活かした体験メニューを実施しています。赤瓦コースター作りやシーサー作り等のやちむん体験（陶芸）、史跡巡り等の体験メニューを展開し、観光客の増加を図っています。



やちむん体験



与那原まちあるき

## （２）大型 MICE 施設

本町と西原町とまたがる中城湾港マリンタウン地区は沖縄県が整備を進めている大型 MICE 施設の建設予定地となっており、周辺開発や関連産業振興が期待されています。

本町側でも MICE 関連産業の受入組織の立ち上げの準備を行っています。



大型MICE施設の鳥瞰図

（資料：沖縄県ホームページ）

## （３）東海岸地域の連携

中城湾港へのクルーズの寄港増加が期待され、東海岸地域の連携推進のため、「東海岸地域サナライズ推進協議会」で観光連携に向けた勉強会を行い、観光振興を通じた地域連携に取り組んでいます。



中城湾港に寄港するスタークルーズのスーパースター・リブラ

（資料：広報おきなわ）



## 2. 2 国内外及び沖縄県の観光動向

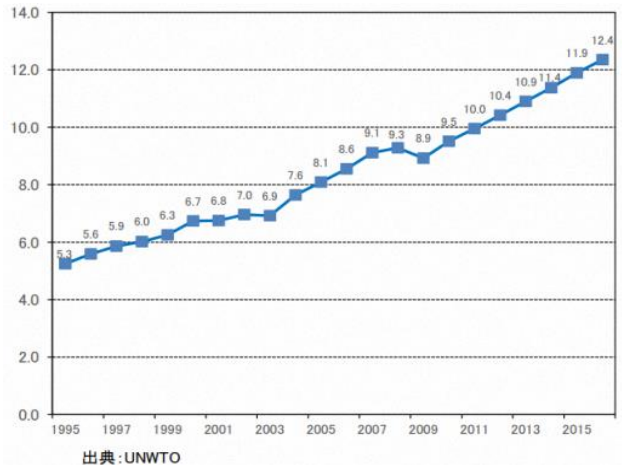
### (1) 国際的な観光の動向

#### ①世界国際観光客数

12.4 億人を記録し拡大を続けています。

(UNWTO (国連世界観光機関) の 2017 年 1 月発表)

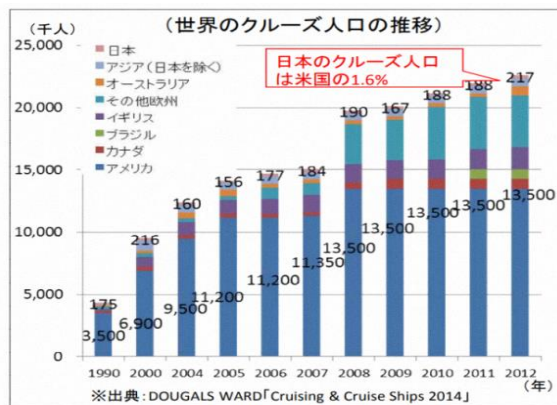
＜国際観光客到着数の推移（億人）＞



#### ②世界のクルーズ市場

世界のクルーズ人口は年々増加しています。総人口に占めるクルーズ人口の比率は小さく、我が国におけるクルーズの成長余地は大きいです。

＜世界のクルーズ人口の推移＞



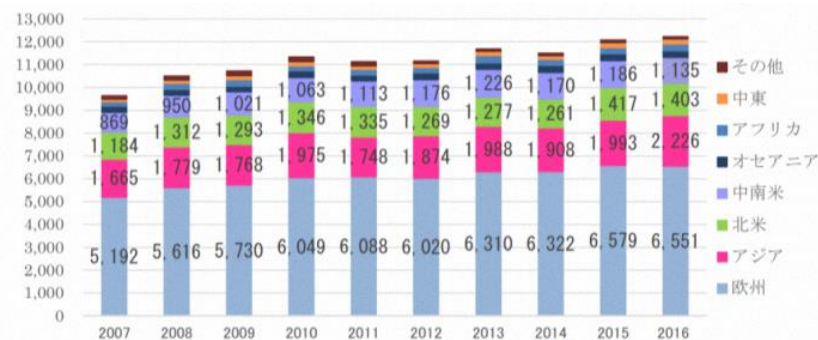
|      | 人口<br>(A(万人)) | クルーズ人口<br>(B(万人)) | クルーズ人口比率<br>(A/B(%)) |
|------|---------------|-------------------|----------------------|
| アメリカ | 31,387        | 1,350             | 4.30%                |
| イギリス | 6,370         | 178               | 2.79%                |
| 日本   | 12,756        | 22                | 0.17%                |

※出典: The World Bank (人口)、Cruising & Cruise Ships 2014 (クルーズ人口) (2012年1月1日現在)

#### ③MICE市場

世界全体の国際会議の開催件数は増加傾向にあり、地域別にみると、国際機関・学会の本部の多くが設置されている欧州が世界全体の約半数を占めておりますが、急速な経済成長を背景にアジア・中東地域は開催件数の伸びが高い状況にあります。

＜国際会議の開催件数の推移＞



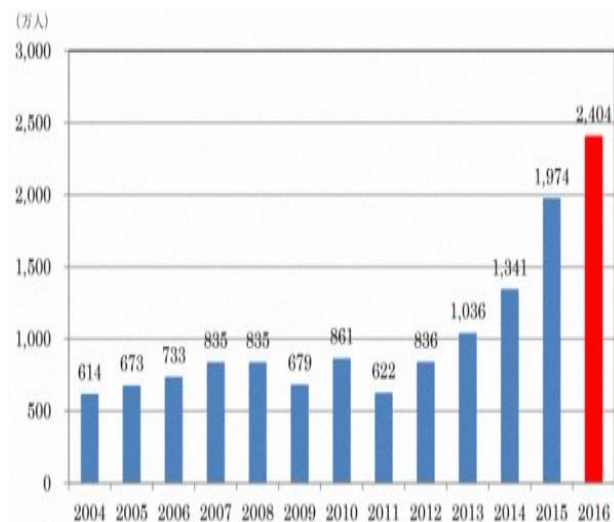
資料: ICCA (A Modern History of International Association Meetings 1963-2012) (2017年5月時点),  
ICCA Statistics Report(2013,2014,2015,2016) (2017年5月時点)に基づき観光庁作成  
注1: ICCAは開催件数4件以下の国は地域分類をしておらず、「その他」に一括計上されている。

## (2) 日本国内の観光の動向

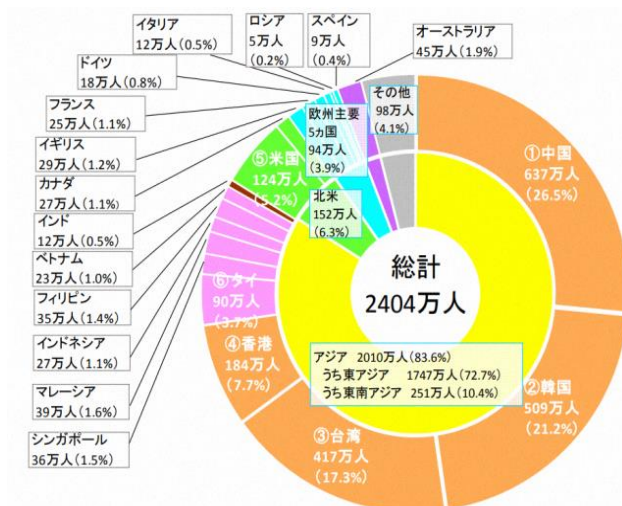
### ①訪日旅行の状況

2016年(平成28年)の訪日外国人旅行者数は、2,404万人(前年度比21.8%)となり4年連続で過去最高を記録しました。

#### <訪日外国人旅行者数の推移>



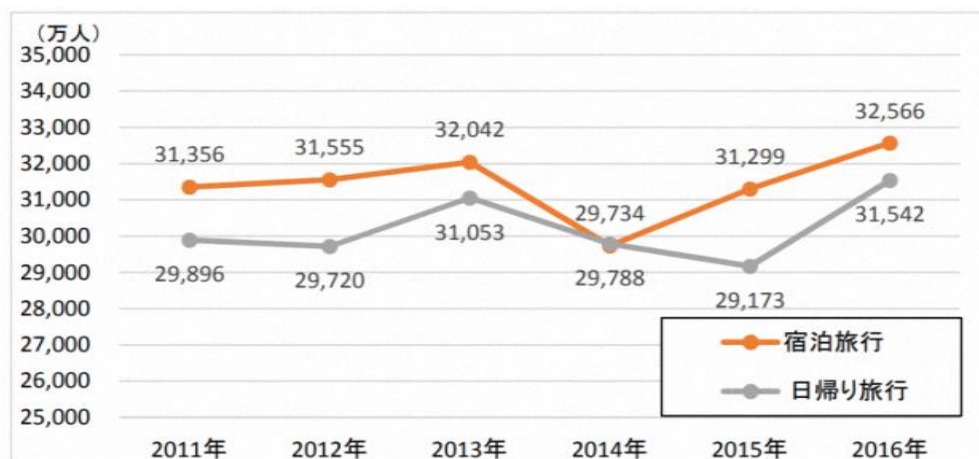
#### <訪日外国人旅行者の内訳(2016年(平成28年))>



### ②国内旅行の状況

2016年(平成28年)に国内宿泊旅行に行った人数は延べ3億2,566万人(前年比4.0%増)、国内日帰り旅行は延べ3億1,542万人(前年比8.1%増)となりました。

#### <国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移>



資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

2012 年（平成 24 年）の国内での LCC 就航により、LCC 国内線旅客数と、全国内線旅客数に占める LCC 国内線旅客数のシェアは、年々増加しており、LCC をきっかけとした旅行需要も増加しています。

## ＜国内線 LCC の就航がもたらした「旅行」への変化＞



### ①SNSが観光行動に与える大きな影響

平成28年の調査では、スマートフォンを利用してSNSなどで映像を見たことがきっかけで、実際に旅行につながった人が19.7%となっています。

| Response                             | Percentage |
|--------------------------------------|------------|
| 映像がきっかけで行きたくなり、その場所を実際に訪れた           | 19.7%      |
| 映像を見たことがきっかけで行きたくなったが実際には訪れていない      | 24.8%      |
| 映像を見たことで満足してその場所に行かなくてもいいかという気持ちになった | 6.0%       |
| そのような気持ちになったことはない                    | 10.5%      |
| そのような映像は見たことがない                      | 44.9%      |

## ② IoTやAIが観光振興に与える影響

AI を活用したビックデータ解析も含め、各種デバイスの開発や観光情報提供、観光コンテンツの提供の面などから今後の技術開発・実用化に期待をもつことができます。



## （４）沖縄県の観光の動向

### ①沖縄県の観光政策

「第5次沖縄県観光振興基本計画（平成24年度～平成33年度）」において計画の目標を「世界水準の観光リゾート地」の実現に向けて、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤を構築することを目的としています。

平成29年3月には「第5次沖縄県観光振興基本計画」の見直しを行っており、昨今の入域観光客の動向を踏まえ、目標フレームとして平成33年度の観光収入1.1兆円、入域観光客数1,200万人（うち外国客400万人）を設定しています。

【第5次沖縄県観光振興基本計画の数値目標フレーム】＜推進期間：平成24年度～平成33年度＞

|                |                                          |
|----------------|------------------------------------------|
| 1) 観光収入        | 1.1 兆円 【最上位目標】                           |
| 2) 観光客一人当たり消費額 | 9.3 万円                                   |
| 3) 平均滞在日数      | 4.5 日                                    |
| 4) 人泊数         | 4,200 万人泊（国内客 3,200 万人泊、外国空路客 1,000 万人泊） |
| 5) 入域観光客数      | 1,200 万人（国内客 800 万人、外国客 400 万人）          |

また、官民一体となって中長期的、段階的に誘客及び受入体制整備等の観光振興施策を推進することを目的に「沖縄観光推進ロードマップ」（以下、「ロードマップ」）を平成27年3月に策定しており、現状と那覇空港第2滑走路前後の3段階の期間に分け、施策展開時期を整理しています。

【時間軸（計画期間中）における施策展開の考え方】

| 目標項目        | H25                                             | H26   | H27   | H28                                           | H29   | H30   | H31   | H32                                   | H33    |
|-------------|-------------------------------------------------|-------|-------|-----------------------------------------------|-------|-------|-------|---------------------------------------|--------|
| 沖縄観光の状況     | 沖縄観光の急拡大期間（インバウンド急増）                            |       |       | 那覇空港処理容量が逼迫、客数増は小幅<br>沖縄観光の転換期（平準化、滞在延伸、消費増等） |       |       |       | 那覇空港第2滑走路供用<br>沖縄観光の新発展開始             |        |
| 観光戦略の基本的な方向 | 現状の取組を継続しつつ、<br>H28頃に想定される転換期に向けた<br>取組を検討、施策策定 |       |       | 沖縄観光の質の転換を実現する施策の<br>集中実施（受入体制重視への政策シフト）      |       |       |       | 目標値の達成に向けた<br>施策を実施しつつ、<br>次の中長期計画を検討 |        |
| 観光客数(万人)    | 658                                             | 717   | 794   | 877                                           | 950   | 982   | 1,015 | 1,124                                 | 1,200  |
| 観光収入(億円)    | 4,478                                           | 5,342 | 6,022 | 6,603                                         | 7,504 | 8,088 | 8,681 | 9,909                                 | 11,000 |
| 一人当消費額(千円)  | 68                                              | 75    | 76    | 75                                            | 79    | 82    | 86    | 88                                    | 93     |

【主な施策の実施内容】

| 目標項目                          | H25                                                                                                                                               | H26 | H27 | H28                                                           | H29 | H30 | H31 | H32                         | H33 |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|---------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----------------------------|-----|
| (1) 需要の獲得(誘客)                 | ①平準化施策の実施<br>②新規市場(欧米リゾート需要、<br>富裕層等)の調査等実施                                                                                                       |     |     | ①平準化、滞在延伸への集中誘客<br>②離島へ誘導(直行便拡大等)<br>③新規市場の誘客拡大               |     |     |     | 滑走路増設を<br>フックにした<br>プロモーション |     |
| (2) 航空座席数の増加                  | ①現状取組継続<br>②航空会社調整(離島直行便)<br>③那覇便の利用率向上等                                                                                                          |     |     | ①離島直行便増便<br>②那覇便の利用率向上等<br>③那覇空港機能向上                          |     |     |     | 滑走路増設を<br>フックにした<br>大幅増便    |     |
| (3) 宿泊供給量の増加                  | ①宿泊施設の現状把握<br>②供給管理施策検討・策定<br>③高価格ホテル誘致検討                                                                                                         |     |     | ①既存施設のリノベーション促進<br>②高価格ホテル、コンドミニアム<br>等整備促進<br>③供給大幅増に向けた施策策定 |     |     |     | 滑走路増設を<br>フックにした<br>供給量大幅増  |     |
| (4) 持続可能な観光リゾート地の<br>形成に必要な施策 | ①人材確保・人材育成等<br>②観光商品、体験メニュー、土産品等の多様化・高付加価値化<br>③観光関連のデータ整備、推進体制の構築等<br>④観光客増に伴う県内環境(経済面、社会生活面)の影響に関するモニタリングと改善施策<br>⑤一般県民や観光関連以外の事業者、市町村等に対する周知活動 |     |     |                                                               |     |     |     |                             |     |

## ②沖縄県におけるMICE振興

### a. マリントウンMICEエリアまちづくりビジョン（平成29年2月）

大型MICE施設は、本町と西原町のみならず本島中南部の東海岸における新たな都市機能として地域の活力向上に資することが期待されています。

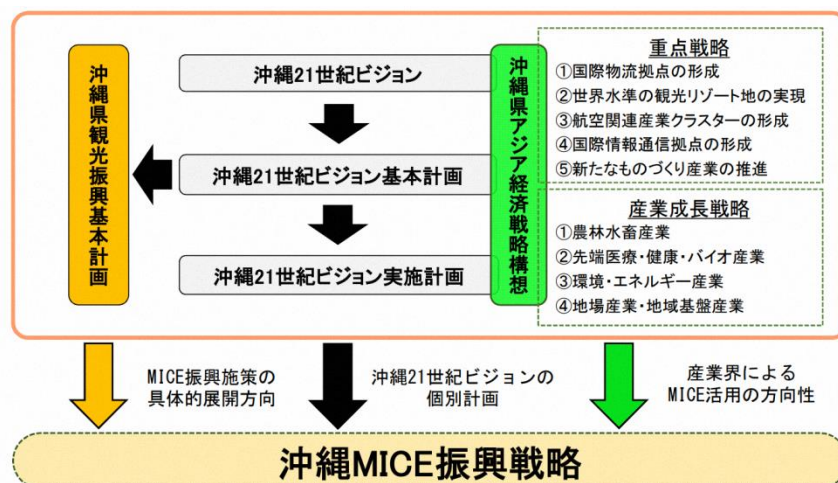
そこで、大型MICE施設周辺に、宿泊施設や複合商業施設等を適切に配置し、MICE利用者の利便性を高めると共に、MICE開催時以外でも街の賑わいを創出するまちづくりを進めるため、その考え方などを示す「マリントウンMICEエリアまちづくりビジョン（平成29年度～平成35年度）」を策定しました。

### b. 沖縄MICE振興戦略（平成29年7月）

「沖縄21世紀ビジョン実施計画」、「沖縄県アジア経済戦略構想（2015年策定）」、「沖縄県観光振興基本計画」等々に示される沖縄県のMICE振興に関する施策を体系的に整理し、取りまとめ「沖縄MICE振興戦略（平成29年度～平成38年度）」として策定しています。

本戦略は、MICEの推進・活用による県経済の発展及び国際的なMICE開催地としての地位確立に向けた基本的な考え方や施策の展開方向等を具体的に示しています。

#### < 沖縄MICE振興戦略の位置づけ >



### c. 沖縄MICEネットワーク

沖縄県全体でMICEを推進するための産官学で構成する団体として「沖縄MICEネットワーク」を平成29年7月に設立しています。このネットワークではMICEを通じた知的・ビジネス交流の促進や、産業分野におけるMICEの活用・推進により、沖縄県経済・産業の成長発展や技術・研究等の振興を図ることを目的としています。

#### < 同ネットワークの構成団体 >

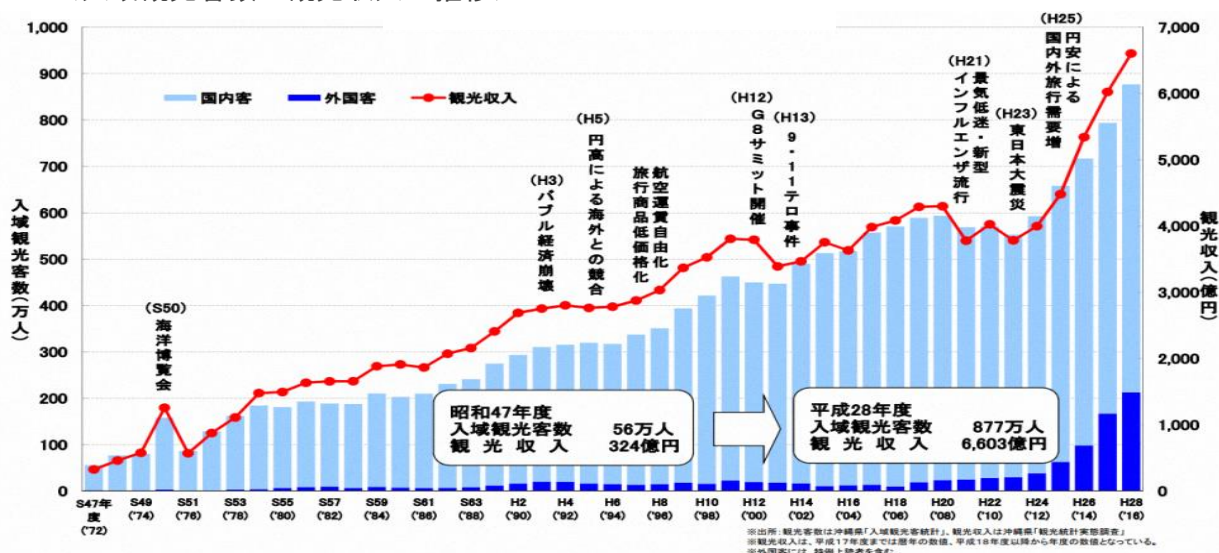
- |                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| (県内) 産業界、大学、各種団体、MICE事業者、施設事業者、サプライヤー、交通機関、金融機関、マスコミ、行政機関等 |
| (県外) MICE関連団体、MICE専門事業者（PCO/PEO、プランナー等）、観光庁、JNTO（日本政府観光局）  |

### ③入域観光客数

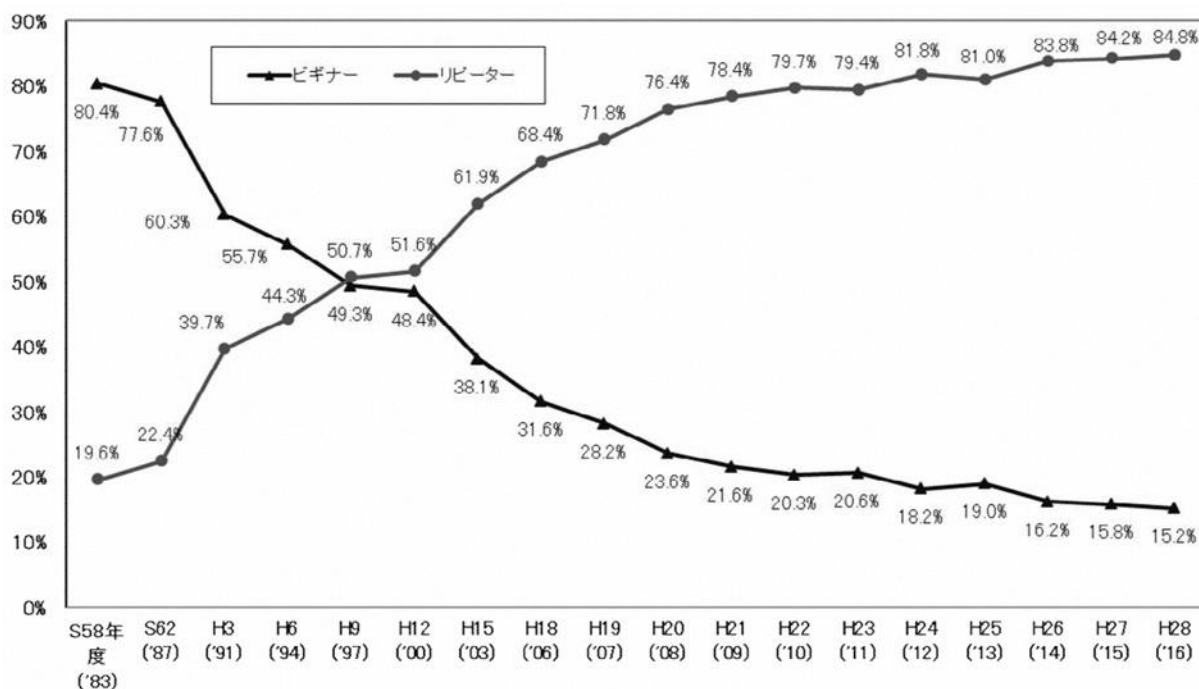
平成28年度の入域観光客数は876万9,200人で、対前年度比で83万2,900人、比率にして10.5%の増加となり、4年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新しました。

また、リピーター率は、8割を超える水準で推移しています。

＜入域観光客数と観光収入の推移＞

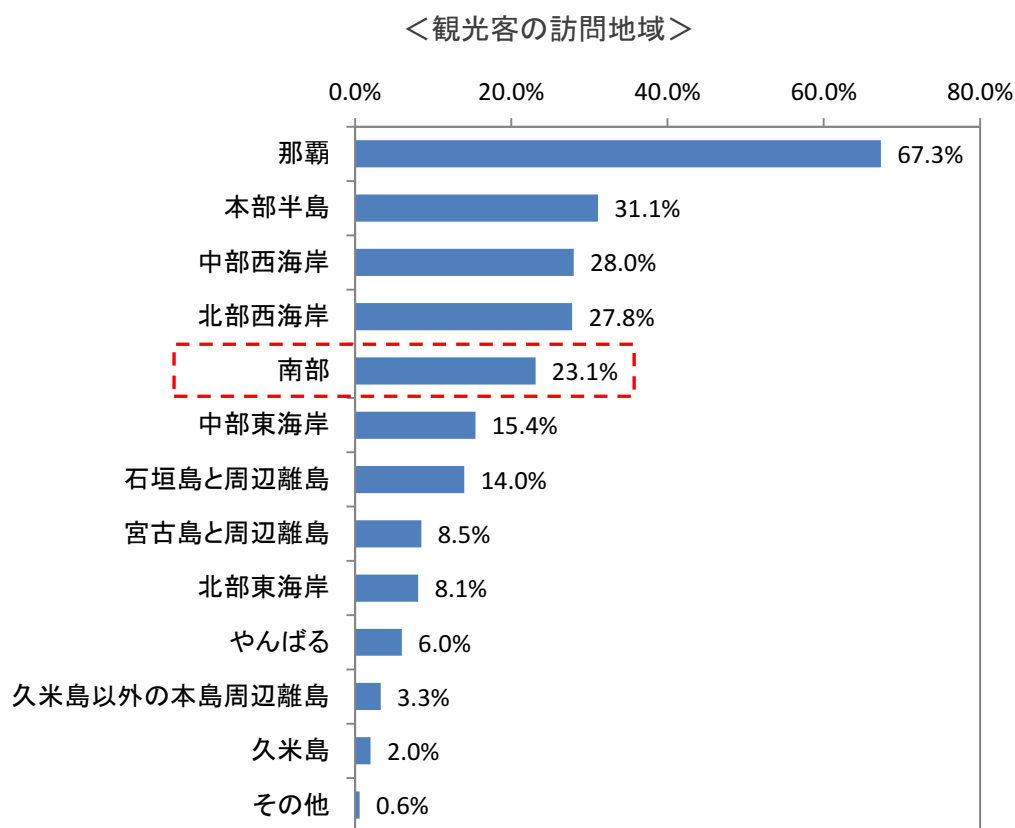


＜リピーター率の推移＞





沖縄県文化観光スポーツ部が実施している平成 28 年度観光統計実態調査をみると、沖縄県に訪れた観光客の 23.1%が南部地域を訪問していることから、沖縄県への入域観光客数約 877 万人のうち、約 202 万人程度は南部地域を訪れていると考えられます。



※移動で通過しただけの場所は除く。

(複数回答)

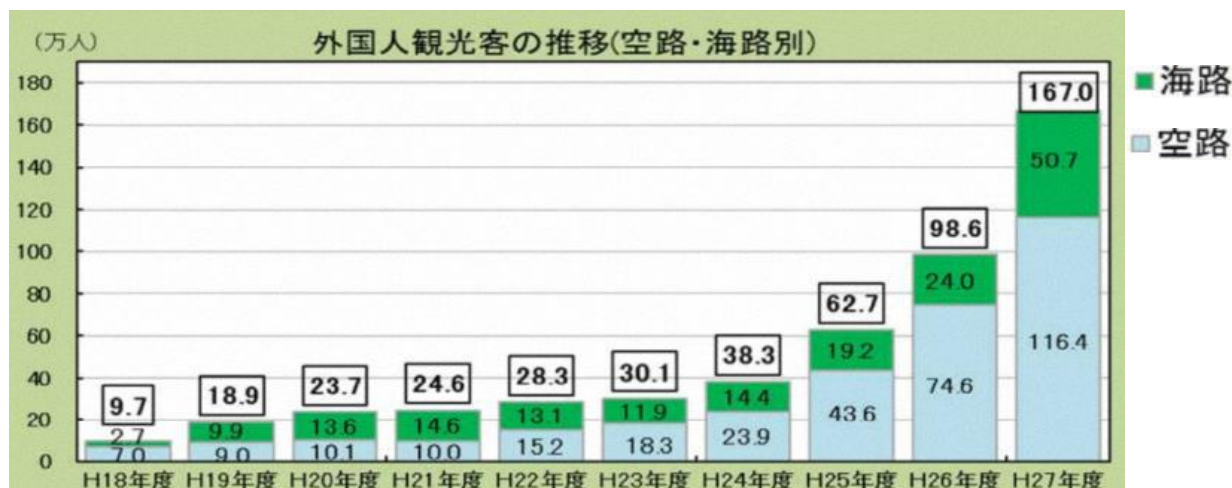
(資料：平成 28 年度観光統計実態調査)

#### ④外国人観光客の動向

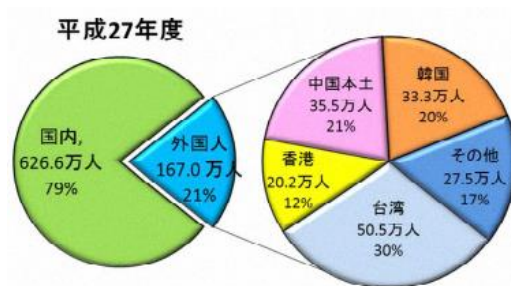
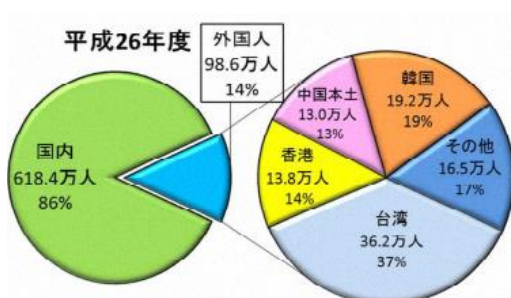
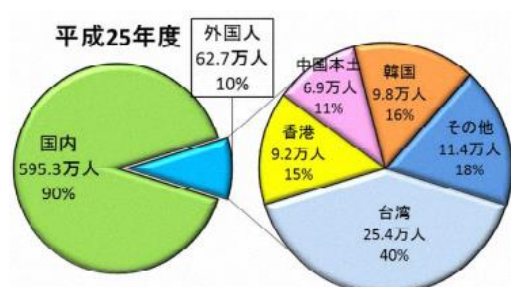
平成28年度の外国人観光客は、212万9,100人で、対前年度比で45万8,800人、率にして27.5%の増加となり、過去最高となりました。（海路、空路ともに過去最高）

観光客に占める外国人観光客の比率は、大幅に増加傾向にあり、国籍別構成割合は、「台湾」が最も多く、増加傾向にあるものの、「中国本土」の増加が著しいです。

##### <外国人観光客の推移（空路・海路別）>



##### <外国人観光客の国籍別構成割合>



## 2. 3 与那原町の観光の現状と課題

### (1) 観光の現状

#### ①観光資源

本町の観光資源としては、440 年余の伝統を持ち、沖縄三大綱の一つとして知られている「与那原大綱曳」があり、毎年旧暦の 6 月に行われるこの行事には、町内外から多くの観客が訪れています。平成 3 年には県内唯一の綱曳資料館が建設されました。地域行事として行われているエイサーやハーリー、東浜地区のマリーナやマリンパークの海洋レクリエーション施設等の広域的な海洋レクリエーション拠点も整備されています。

運玉森や雨乞森の山頂からは、眺望が素晴らしく、東に久高島や津堅島、西に慶良間諸島などを望むことができます。本町中心部に位置する御殿山（うどんやま）や親川（えーがー）は、いにしえからの聖地を巡る東御廻り（あがりうまーい）のルートとなっており、観光資源としての活用が望まれます。

#### ②観光客数の推移

本町の歴史を象徴する施設として復元された「軽便与那原駅舎展示資料館」が代表的な立ち寄り施設となっています。軽便与那原駅舎は平成 26 年 1 月にオープンし、平成 27 年度は 4,977 人、平成 28 年度は 7,907 人の来館があり、平成 29 年 7 月には累計入館者数 20,000 人を達成しました。

#### ③上位計画関連

第 4 次与那原町総合計画（一部改訂）は、本町のまちづくりの最も上位に位置づけられる計画です。総合計画は基本構想、基本計画及び実施計画で構成され、基本構想の期間は平成 23 年 4 月から平成 31 年 3 月までの 8 年間です。観光については、地域の資源の発掘、歴史文化の活用等とともに大型 MICE 施設の開業に伴い、国内外からの観光客の増加が期待されることから、受入体制の強化を図り、観光振興を図ると述べられています。

### (2) 与那原町の観光の課題

#### ①観光地としてのイメージの構築

本町は、町自体の知名度が低く、また観光目的地としても認識が十分ではない状況にあります。本町のもつ歴史・文化、景観や自然等の観光コンテンツの魅力について、多くの人に知っていただき、価値を感じて頂けるよう、観光地としてのブランドを構築する必要があります。

現時点においては、ブランドの核となる観光資源や内外からみた魅力が確立されておらず、与那原町といえば「これだ!」と言えるような核となるコンテンツの強化が必要となっています。

#### ②多様な観光資源および拠点

観光客に与那原らしさを実感していただけるコンテンツが数少ないのが現状です。観光による地域への経済効果を最大化するためには、知名度の向上や誘客の促進、地域における消費の促進



等、様々な取組が今後必要とされます。また、通過型の観光となっているため、店舗等に立ち寄ってもらえるようなスポットの強化や、観光客にとって利便性の高い交通手段の構築に向けた取組も図っていく必要があります。

### ③大型MICE施設周辺地域整備（宿泊施設他）

大型MICE施設の供用開始に際し、県外・海外からの観光客が増加することが想定されますが、近隣に大人数が宿泊可能な宿泊施設がなく、MICEや観光需要の取り込みのために、今後の宿泊施設の整備が課題となっています。

与那原マリーナには、スーパーヨット等の寄港に期待が寄せられています。マリーナを中心とした、受入施設やサービスの充実などスーパーヨットを利用する富裕層観光客の受入体制構築が課題となっています。

### ④東海岸地域の連携（西海岸地域との差別化）

沖縄本島の西海岸側は、ビーチリゾートとしてのイメージが確立されているもの、東海岸側は、観光地域としての印象が構築されていません。

今後、東海岸側において西海岸側にはない、新たな魅力を作っていくためには、東海岸地域で連携し、ツーリストの価値観に訴求できるようなコンテンツを開発していく必要があります。

### ⑤持続的な観光推進新体制

本町をとりまく環境が変化を遂げる中、持続的に観光振興を進めていくためには、専門的な知見をもつ職員を配置し、まちづくりの観点からも観光を牽引しうる組織体制を構築する必要があります。

## 第3章 与那原町の観光振興基本理念

### 3.1 基本理念

本町には、「親川拝所」や「御殿山」など琉球王朝時代から国家の繁栄と五穀豊穡を祈願する祭祀として行われていた「東御廻り」の聖地があり、琉球の精神文化を現在に受け継いでいます。また、豊作祈願の神事として440年余の歴史を有する「与那原大綱曳」は、よなばるんちゅの誇りであり沖縄を代表する伝統行事です。

本町は古くから交通の結節点として栄えてきました。国頭村から農林産物を運ぶ山原船の海上交通の拠点として、また大正時代に沖縄で初めて開通した軽便鉄道の駅が立地する等本島中南部を結ぶ重要な機能を有していました。

戦後は港の機能は失われましたが、現在も陸上交通の要衝として発展しており、中城湾港マリントウン地区は多くの商業施設や教育機関などが整備され、東海岸地域の発展を牽引しています。現在、本町は人口増加傾向にあり、住みやすいまちとしての評価が高まっています。

この中城湾港マリントウン地区が、沖縄観光の新機軸となるMICEの中核的施設が建設される予定地に決定し、沖縄県が供用開始に向け、整備を進めております。今後、マリントウン地区には新たに商業施設や宿泊施設などの立地が予想され、更に賑わいのあるまちとして発展することが期待されています。また与那原マリーナはクルージングやマリナクティビティ拠点として注目を集めており、新たな海上交通の要衝としての可能性を秘めています。

こうした本町を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、本町の持つ自然・歴史・文化的特性や優れた生活環境を活かした観光振興に取り組むと同時に、沖縄県のMICE拠点としての立地を活かしたビジネスリゾート構築に取り組めます。

一人でも多くの方に本町を知ってもらい、本町の人と出会い、文化や風土に触れてもらうことで、このまちで暮らしたいと思えるような体感・体験を提供します。またこれを通じて、町民一人ひとりが輝き、まち全体が輝く、国内外の他にはない「よなばる」ならではの観光まちづくりを実行し、東海岸地域の「サンライズリゾート」としての発展を牽引します。

人が輝く まちが輝く サンライズリゾート よなばる



## 3. 2 メッセージ

この基本理念の実現に向けて、本町は以下のメッセージを送ります。

### （１）与那原町民に向けて

本町の観光の明るい未来を創るためには行政や観光業界に加えて、町民一人ひとりが「主役」として取り組むことが必要です。光り輝く本町の魅力を発見し、成長させ、発信していきましょう。普段の生活のなかから、おもてなしや町内の美化等を心がけ、住みやすさナンバーワン、観光客満足度ナンバーワンを目指しましょう。

### （２）与那原町の事業者に向けて

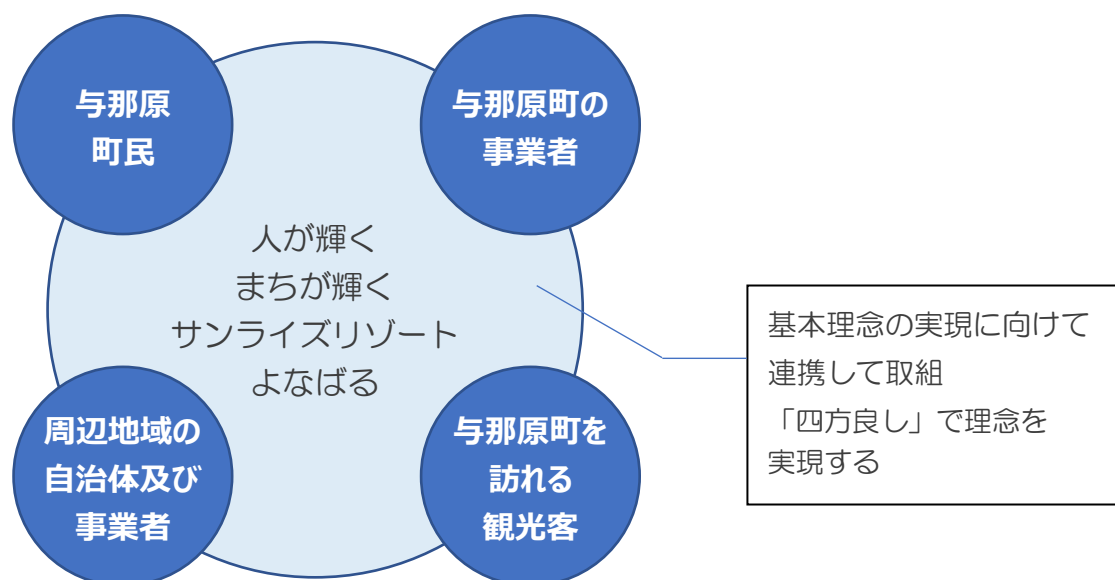
観光は旅行業、運輸業、宿泊業、飲食業、観光施設、土産品業、イベント業など幅広い産業に関連する非常に裾野が広い「総合産業」であり、経済効果が大きいことが特徴です。観光客やビジネス客のニーズを的確に捉え、質の高い製品やサービスを提供することで本町の産業を盛り上げましょう。

### （３）周辺地域の自治体及び事業者に向けて

東海岸地域は発展可能性を秘めた地域です。「中城湾地域振興協議会」及び「東海岸地域サンライズ推進協議会」が中心となり中城湾地域全体で観光振興に取り組むことで地域経済力向上につなげていきましょう。

### （４）与那原町を訪れる観光客に向けて

本町は古い街並みと新たな街が併存する魅力あふれるまちです。沖縄本島の東海岸を代表する観光地とビジネス拠点として発展する本町を体感してください。これまでの沖縄観光では得られなかった満足が得られます。私たちは皆様を温かくお迎えします。





## 第4章 与那原町観光実施計画

### 4. 1 観光実施計画の目標（与那原町の観光の5年後のあるべき姿）

「基本理念」の実現のために、観光実施計画の目指す目標を以下に示します。

- 本町のもつ歴史文化や地理的な背景といったポテンシャルを「与那原ブランド」として内外に発信している。
- 「与那原ブランド」に価値を感じるツーリストに、本町を体感する機会を提供しており、与那原のことをより好きになって頂いている。
- 町民は、観光客の受入を通じて、経済面や社会面でメリットをもたらされており、町民がそれを実感できている。

【目標1】：与那原ブランドの構築と浸透、強化

内外から与那原の地域ブランドの価値が認知されている。

【目標2】：ツーリストに対するブランド価値の提供

ツーリストが与那原ブランドの価値に出会える機会を本町で提供できている

【目標3】：ツーリズムをきっかけにした住みやすさの実現

町民が観光への取組を通じて、町に誇らしさを感じ、活躍の場の確保や、所得の向上などの利点を享受できている。

【与那原町の観光振興基本理念】

人が輝く まちが輝く サンライズリゾート よなばる

【観光実施計画の目標】

【目標1】  
与那原ブランドの構築  
と浸透、強化

内外から与那原の地域ブランドの価値が認知されている。

【目標2】  
ツーリストに対するブランド価値の提供

ツーリストが与那原ブランドの価値に出会える機会を本町で提供できている。

【目標3】  
ツーリズムをきっかけにした住みやすさの実現

町民が観光への取組を通じて、町に誇らしさを感じ、活躍の場の確保や、所得の向上などの利点を享受できている。

## 4. 2 目標達成に向けた3つの重点事項

3つの目標を達成するために「与那原町観光計画（平成25年）」の前期の実績や町民ワークショップの結果を踏まえ、今後5年間で重点的に取り組むべき事項を以下の3点とします。これらの重点事項を踏まえ、戦略や施策の方針、施策を定めていきます。

### I. 大綱曳

町民の誇りである本町の大綱曳は440余年の歴史があり、毎年開催されている与那原大綱曳まつりは1年間でもっとも集客している最大のイベントとなっており、本町で最も認知度が高く、県外・海外の観光客にも魅力のあるコンテンツとなっています。

平成27年度には「大綱曳のまち」宣言を行っており、今後は与那原大綱曳まつりが開催される時だけでなく、いつでも与那原といえば大綱曳といえるような仕掛け作りを行うことにより、さらに多くの人に本町を認知させ、誘客を図る仕組みの構築が期待されます。

また、他の大綱曳開催地域や、開催予定のある地域等との交流を先導していきます。

### II. 水路

東浜水路はこれまで開催されたワークショップやアンケート等からも町民だけでなく、町外から訪れる方にとっても観光スポットとしての可能性を感じられるエリアとなっており、今後の活用が期待されています。

民間事業者の視点も取り入れながら、官民協働で水路沿いでのアクティビティや食の魅力のコンテンツ等の構築・強化を行い、賑わいの創出を図ります。

### III. MICE

平成27年5月に本町と西原町にまたがる中城湾港マリンタウン地区が大型MICE施設の建設予定地に決定し、沖縄県が主体となり、供用開始に向けて取り組んでおります。

建設予定の大型MICE施設は、県内で最大、国内でも最大規模の施設となり大きなビジネスの機会があります。このビジネス機会をしっかりと獲得すべく、受入体制の強化を図ります。

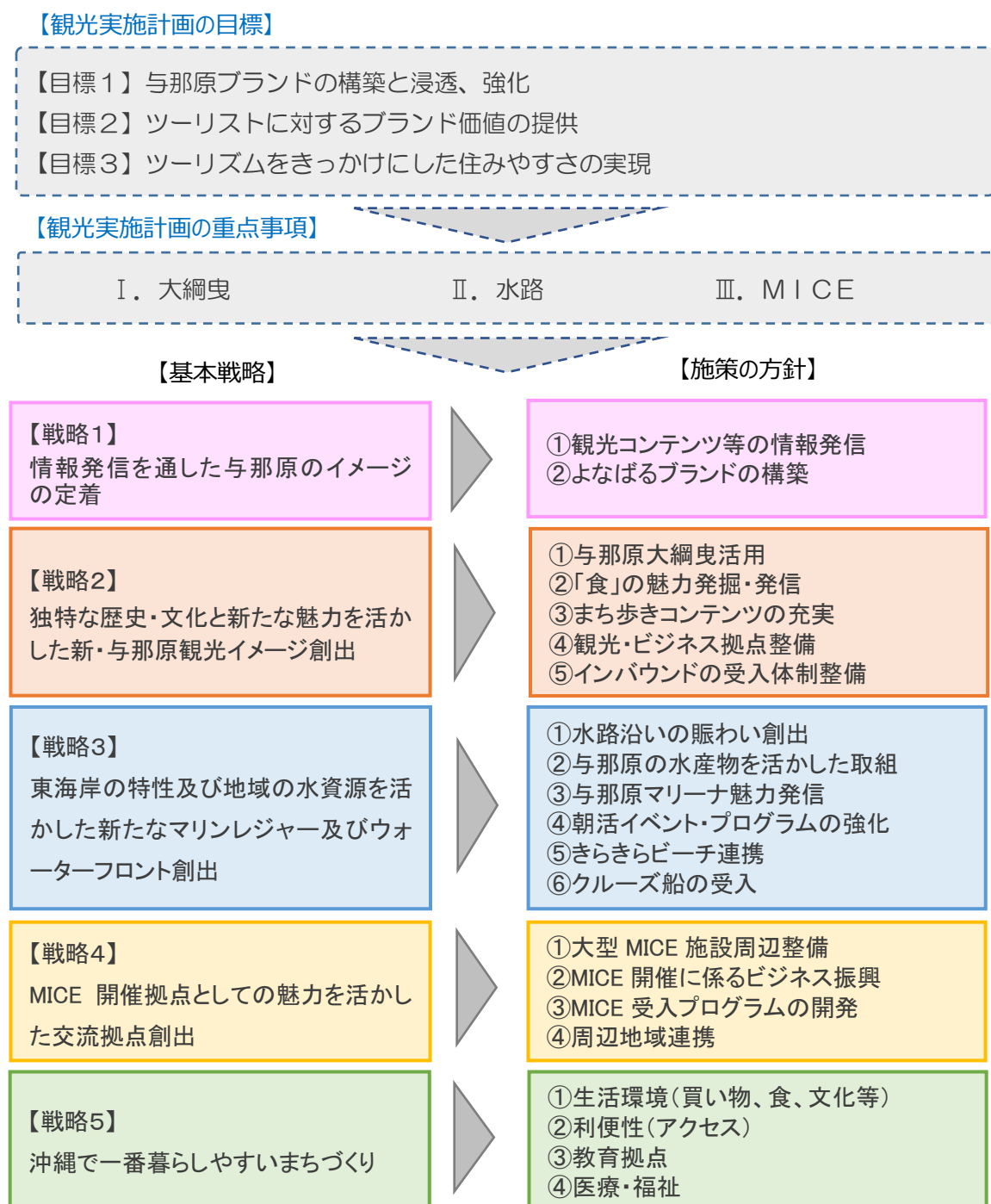


## 4. 3 基本戦略と施策の方針

観光実施計画の目標を達成し、「基本理念」を実現のために、基本戦略及び施策の方針を以下の通り定めます。

### (1) 全体体系

基本戦略として5つの戦略を定め、戦略1を本町のツーリズム全体の情報発信やブランディングに関わるものとし、戦略2～4を本町のツーリズムに関わる基盤整備やコンテンツの充実、戦略5をツーリズムの受入を通じて目指すべき住みやすさの実現について定めます。



## （２）基本戦略と施策の方針の考え方

### １）【戦略 １】情報発信を通じた与那原のイメージの定着

#### ①観光コンテンツ等の情報発信

本町の観光情報を収集し、与那原町観光ポータルサイトや全県的な観光情報発信ホームページ、SNS 等の媒体を活用し、店舗を含めまちの魅力となる様々な情報を発信し、知名度向上、来訪者の増加に繋がります。イベント等の際には ICT を活用した情報発信に併せて、テレビやラジオ等のメディアも最大限に活用し、町内外への情報発信を強化します。発信した情報については、サイトの閲覧数やメディアの GRP（GrossRatingPoint：延べ視聴率）の計測や、来訪者へのアンケートを通してデジタルマーケティングを行い、より効果的な情報発信を行います。さらには、IoT や AI の技術動向を注視しつつ、デジタルマーケティングやコンテンツ開発等に活用します。

また、ガイドブックやリーフレットを作成し、来訪者や来訪予定者に対し、情報発信を行います。店舗等の情報を載せることにより、滞在時間の向上や消費額の増加を図ります。しかし店舗等の情報は状況に応じて更新が必要であるため、最新のトレンドに合った紙媒体の作成や、与那原町観光ポータルサイトと連携した最新の情報発信を行います。

さらには、作成したガイドブックやリーフレットは県内外の各観光施設等に配置するなどし、沖縄への来訪者や、来訪意向のある方々に手に取ってもらえるような工夫を行います。加えて、近年増加傾向にある外国人旅行者へも情報を伝えるよう、多言語での作成を行います。

ガイドブックやリーフレットで観光情報発信を行ったり、旅行博等イベントの際に展示ブースで情報発信を行い、本町のシンボルとなる観光 PR キャラクターの制作についての検討を行います。

また、町外だけでなく町内においても、広報や現在整備を進めている大型ビジョン等を通して MICE を含めた町の観光動向を発信し、町民の理解を深めながら観光振興を行っていきます。

#### ②よなばるブランドの構築

与那原町のブランドの核となる要素を見出し、地域ブランドの確立を図ります。確立された地域ブランドは、情報発信や観光コンテンツの開発、特産品開発などの様々な取組の中で活用し、ブランドの一層の浸透を図ります。また、今後町内に向けてのブランドの浸透についても取り組みます。

#### <主要な取組（施策）>

- 1-1 デジタル的な情報発信
- 1-2 アナログ的な情報発信
- 1-3 MICE の取組を含む町内への啓発・広報活動
- 1-4 よなばるブランドの構築



## 2)【戦略 2】独特な歴史・文化と新たな魅力を活かした新・与那原観光イメージ創出

### ①与那原大綱曳活用

本町最大のイベントである与那原大綱曳まつりは、440 余年の伝統的な歴史を持つ与那原大綱曳をメインとしており、その大綱曳の魅力をもっと多くの人に知ってもらうために体験型のメニューを構築し、更なる集客を図ります。また、与那原大綱曳まつりの来訪者に綱以外の様々な魅力を体験してもらうべく、観光メニューの PR も行います。

本町は平成 27 年度に「大綱曳のまち」宣言も行っており、与那原＝大綱曳のイメージを定着すべく、与那原大綱曳まつりの伝統的な大綱曳だけではなく、大綱引の全国大会や世界大会の開催も検討し、参加型の綱のコンテンツの増加を図ります。

### ②「食」の魅力発掘・発信

本町の食の魅力を発信し、来訪者の増加や回遊性の促進に繋げるべく、商工会や社交飲食業組合と連携した食のイベントやスタンプラリー等を実施し、それらをきっかけにリピーター獲得へ繋がります。

また、「与那原そば」や「与那原ひじき」、「ソデイカ」等、与那原産食品のブランド化の検討を含め本町の新たな食の魅力・イメージの創出を図るべく特産品の開発等の新たなメニュー開発も検討します。

### ③まち歩きコンテンツの充実

本町の史跡と連携したまち歩きルート of 環境整備を行い、魅力の強化を図ります。また、まち歩きガイドの人材育成とルート of 充実を図り、さらに魅力あるプランにし、しっかりと顧客に届く情報発信の方法を検討しながら、参加者の増加を図ります。

### ④観光・ビジネス拠点整備

軽便与那原駅舎展示資料館を本町の観光拠点施設とすべく、展示資料物等コンテンツの充実や認知度向上のイベントを実施します。

また、民間事業所等とも連携し、ビジネスの拠点として空き地や空き店舗等を商業施設やレストラン等への再構築（リノベーション）による活用を図ります。

さらに、物販機能を含めた観光情報発信、案内拠点の整備を検討します。

### ⑤インバウンドの受入体制整備

近年増加傾向にある外国人来訪者の受入体制を整備するべく、多言語対応を推進します。

それに伴い、町内事業所に対する多言語対応への啓蒙啓発、外国人の招聘、町内事業者の外国人対応先進地への派遣等を行い、多言語対応への意識の向上を図り、受入体制整備の促進に繋がります。

また、キャッシュレスや Wi-Fi 環境の整備の拡充等、外国人旅行者も周遊しやすく消費しやすい環境整備を検討します。

<主要な取組（施策）>

- 2-1 大綱曳体験ツアー
- 2-2 「大綱曳」をテーマにした新規コンテンツの展開
- 2-3 食の魅力創出
- 2-4 まちあるきガイド養成・コースの充実
- 2-5 拝所等文化資源の環境整備
- 2-6 まちなみ環境の整備
- 2-7 軽便駅舎の観光交流拠点に向けた取組
- 2-8 既存の建物を活用した事業所誘致
- 2-9 多言語対応の環境整備

### 3)【戦略3】東海岸の特性及び地域の水資源を活かした新たなマリンレジャー及びウォーターフロント創出

#### ①水路沿いの賑わい創出

本町の東浜水路を活用し、カヌー体験や水路沿いでイベントの開催、ランタンやイルミネーション等でのライトアップを通し、水路沿いの賑わい創出を図ります。

水路沿いを本町の観光スポットと位置付けることにより、近隣住民との合意形成を図りながら水路沿いのカフェや屋台の経営等、民間事業者の進出を促せるような拠点づくりを検討します。

#### ②与那原の水産物を活かした取組

本町はひじきやソデイカの水揚げ量が県内でトップクラスであり、ソデイカについては平成29年1月に沖縄県より拠点産地に認定されています。

本町で水揚げされるひじきやソデイカ、マグロ等の海産物のPRと本町内での流通を図り、本町で食べられる海鮮料理等の開発を行い、近年増加傾向にある外国人に人気のある「美味しい海産物が食べられるまち」のイメージ向上を図ることを検討します。

#### ③与那原マリーナ魅力発信

平成28年度に供用開始をした与那原マリーナやマリーナの所管である沖縄県と連携し、海を活用した体験プログラムの充実やマリンスポーツイベントの実施等を検討します。

与那原マリーナは“世界に開かれた港”であり、海外からの船を受け入れることも可能になっているため、海外からの来訪者の受入も連携して行う仕組みを検討します。

また、与那原マリーナとの合同のイベントや体験プログラムを創出していくことで、本町の「海辺のまち」のイメージの強化を図り、観光コンテンツとしての魅力の拡大と来訪者の増加に繋がります。

さらに、与那原マリーナ発着の海上交通や海上観光の充実についても検討します。

#### ④朝活イベント・プログラムの強化

日が昇る東海岸に位置する本町の特性を活かし、朝のイメージの発信を行います。ビーチと連携した朝の体験メニューの提供や、朝活のイベント等を実施し、町内の朝食提供が可能な飲食店等とも連携を図り、朝の健康的なイメージの強化を行うことを検討します。

#### ⑤きらきらビーチ連携

きらきらビーチと連携してSUPやヨガの体験を始め、マリンアクティビティの提供を通し海のイメージの拡大を図ります。また、ビーチバレー等のマリンスポーツの誘致や、MICEのメニューとして開催されるビーチを活用したチームビルディングの開催を検討します。

これらのアクティビティやイベント等と連携し、本町の飲食店等店舗情報を発信し、回遊の促進を図ります。

#### ⑥クルーズ船の受入

本町が面する中城湾港は世界に開かれた港であり、今後はクルーズ船の入港も想定されること

から、クルーズ客のニーズの調査や民間事業者と連携したお土産や観光体験メニューの開発、クルーズ船から上陸するまでの送客方法及び陸上での周遊の仕組みづくりを検討します。

<主要な取組（施策）>

- 3-1 水路を活かした観光プログラムの構築
- 3-2 夜の飲食街活性化のための取組
- 3-3 地域活性化イベントの支援事業
- 3-4 与那原の水産物のブランド化
- 3-5 与那原マリーナ発マリンレジャーの創出
- 3-6 東海岸の特性を活かした早朝プログラム創出
- 3-7 西原町と連携したきらきらビーチの活用推進
- 3-8 クルーズ客のニーズに対応する仕組みの構築



#### 4)【戦略 4】MICE 開催拠点としての魅力を活かした交流拠点創出

##### ①大型 MICE 施設周辺整備

沖縄県と連携し、大型 MICE 施設の周辺環境の整備を行います。大型 MICE 施設（建設予定地）周辺のホテルや商業施設の誘致や、無電柱化、町内周遊のための多言語でのサイン看板、雨風をしのぐためのサンシェードの整備等を検討し、MICE の開催に伴う本町へのメリットを最大化するための環境整備に取り組みます。

##### ②MICE 開催に係るビジネス振興

大型 MICE 施設の動向を踏まえつつ、平成 28 年度に構築した受け皿組織を中心に施設の開業に向け地元事業所への啓発を行い、MICE 関連産業への参画する事業所の増加を図り、MICE 主催者や参加者のニーズに合ったサービスの提供を可能とする為の MICE 産業への対応力強化に向けた取組を図ります。それにより、大型 MICE 施設で開催される催事の増加を支援し、本町へのメリットを大きくする仕組みを構築します。

また、取組の推進を図るための財源として、県における観光税の導入状況を踏まえて、ホテルや旅館等の旅館業の施設または住宅宿泊事業法の宿泊施設（民泊）を利用する宿泊者に対する宿泊税の導入も、今後検討します。

##### ③MICE 受入プログラムの開発

商工会等と連携し、本町で提供可能な MICE プログラムを構築し、MICE で訪れる多くの来訪者に町内消費を拡大する仕組みをつくります。大型 MICE 施設の開業までにプログラムの構築、モニタリングを行い、プログラムのブラッシュアップを行って大型 MICE 施設が開業するときには商品化できるようにし、本町ならではの MICE が開催できるよう受入体制を整えます。また、MICE 関連産業には専門の知識やノウハウを要するため、商工会等と連携し、MICE 産業に精通する人材を育成する事を検討します。

##### ④周辺地域連携

本町、西原町、中城村、北中城村で構成される東海岸地域サンライズ推進協議会に併せ、南城市、沖縄市、うるま市を加えた中城湾地域振興協議会、本島南部地域や那覇市等と連携した広域的な観光メニューやルートの開発を行い、東海岸地域を中心とした観光促進を図ります。

また、大型 MICE 施設での催事受入は本町だけでは厳しい部分もあるため、広域で連携し、より魅力的な MICE プログラムを開発し、MICE の主催者及び参加者のリピートに繋がります。

##### < 主要な取組（施策） >

- 4-1 大型 MICE 施設周辺整備
- 4-2 MICE マネジメント力強化
- 4-3 MICE プログラムに対応したメニューの充実
- 4-4 広域的な観光商品の開発

## 5)【戦略 5】沖縄で一番暮らしやすいまちづくり

### ①生活環境（買い物、食、文化等）

住んでよし、訪れてよしの安心・安全な観光地域づくりを行うため、沖縄県や近隣市町村、地域事業所と連携し災害等の緊急時に観光客を安全に帰宅させるための観光危機管理のマニュアルを策定します。また、観光客のマナーに対する啓発活動や防犯面も強化し、住民にとっても安心安全な環境づくりを行います。

来訪者および住民に本町内を気持ちよく周遊してもらうため、公衆トイレ等も含む観光地美化活動や環境整備を行います。

また、本町は宿泊施設が少ない現状にあるため、本町の暮らし等の体験ができる、安心・安全な民泊を推進します。また、与那原大綱曳まつり際にはコアなファンを増やすべく、イベント民泊の実施を検討し、より本町が体験できる仕組みを構築します。

### ②利便性（アクセス）

那覇市等からのアクセスの充実を図るため、公共交通の充実や駐車場の確保を図り、町内や周辺地域の周遊促進のため、レンタルサイクルの導入を検討します。また、レンタルサイクルの導入に当たっては駐輪場の確保等も併せて検討します。

### ③教育拠点

本町の観光交流施設等を活用したスポーツツーリズムの開催推進と、スポーツキャンプの誘致を検討し、スポーツを通じた教育拠点の構築を目指します。

また、観光人材育成を推進し、沖縄県の推進する「ウェルカムんちゅ」の町民を増やすことや、大学等の教育機関と連携した外国人対応可能な人材の育成を推進します。

### ④医療・福祉

人口増加率の顕著な本町ならではの子育て世代が憩い、安心して暮らせる環境整備の推進や、障がいを持つ方々でも暮らしやすいイメージを創出し、住みやすいまちの創出や持続的な人口増加を図ります。

また、町内の保育施設や沖縄女子短期大学等と連携しながら大型 MICE 施設催事が行われる際に子どもを一時預かる制度を進めていくことを検討します。

#### < 主要な取組（施策） >

- 5-1 民泊事業の推進
- 5-2 観光地美化活動
- 5-3 観光危機管理
- 5-4 レンタサイクル等での域内交通の充実
- 5-5 スポーツツーリズムの推進
- 5-6 ユニバーサルデザインによる受入環境整備

## 4. 4 観光実施計画の施策

### (1) 全体体系

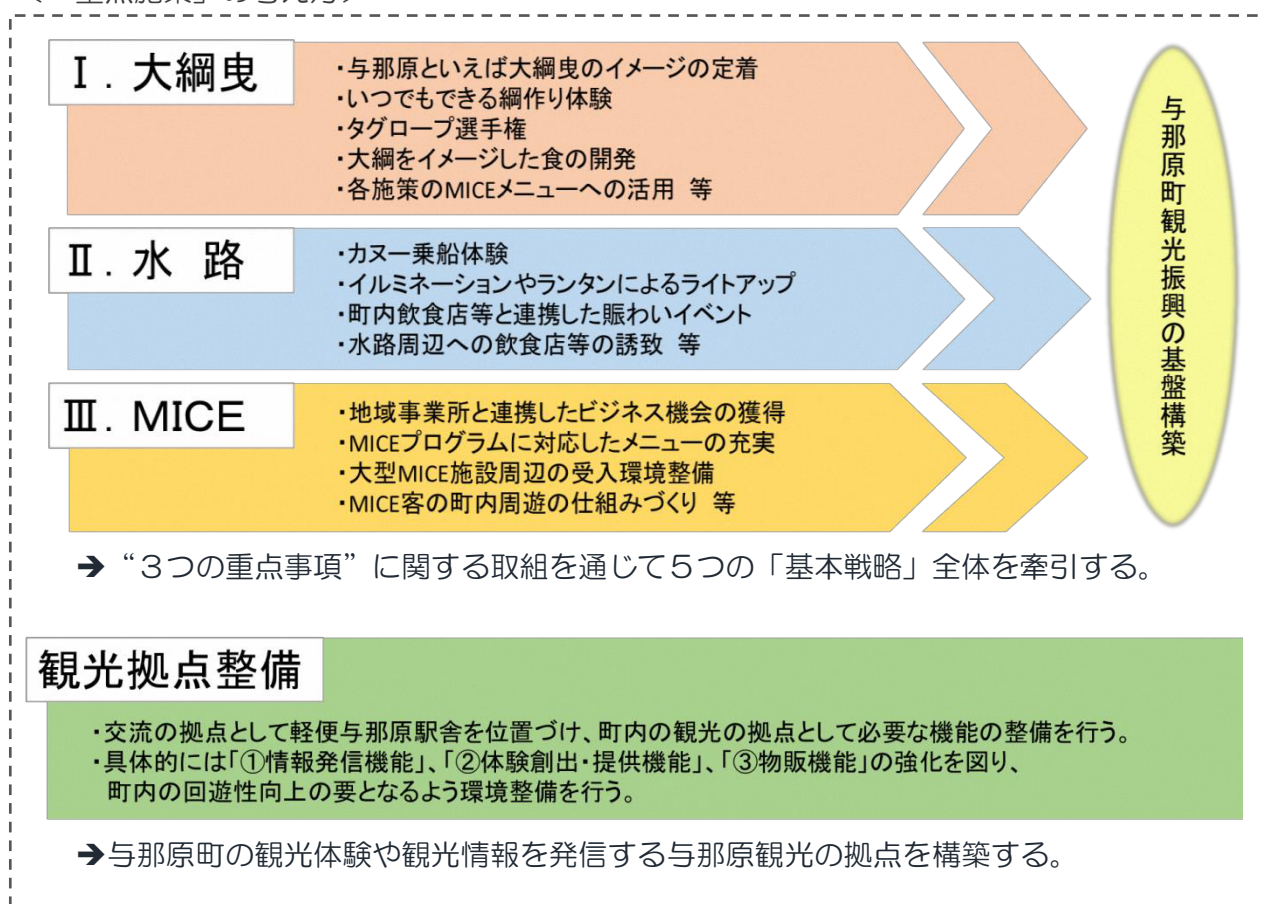
| 基本戦略                                                                    | 施策の方針                                                                                                 | 施策                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【戦略1】<br>情報発信を通じた<br>与那原のイメージ<br>の定着                                    | ①観光コンテンツ等の情報<br>発信<br>②よなばるブランドの構築                                                                    | 1-1 デジタル的な情報発信<br>1-2 アナログ的な情報発信<br>1-3 MICE の取組を含む町内への啓発・広報活<br>動<br>1-4 よなばるブランドの構築                                                                                                                |
| 【戦略2】<br>独特な歴史・文化と<br>新たな魅力を活か<br>した新・与那原観光<br>イメージ創出                   | ①与那原大綱曳活用<br>②「食」の魅力発掘・発信<br>③まち歩きコンテンツの充実<br>④観光・ビジネス拠点整備<br>⑤インバウンドの受入体制整備                          | 2-1 大綱曳体験ツアー<br>2-2 「大綱曳」をテーマにした新規コンテンツの展開<br>2-3 食の魅力創出<br>2-4 まちあるきガイド養成・コースの充実<br>2-5 拝所等文化資源の環境整備<br>2-6 まちなみ環境の整備<br>2-7 軽便駅舎の観光交流拠点に向けた取組<br>2-8 既存の建物を活用した事業所誘致<br>2-9 多言語対応の環境整備             |
| 【戦略3】<br>東海岸の特性及び<br>地域の水資源を活<br>かした新たなマリ<br>ンレジャー及びウ<br>ォーターフロント<br>創出 | ①水路沿いの賑わい創出<br>②与那原の水産物を活か<br>した取組<br>③与那原マリーナ魅力発信<br>④朝活イベント・プロ<br>グラムの強化<br>⑤きらきらビーチ連携<br>⑥クルーズ船の受入 | 3-1 水路を活かした観光プログラムの構築<br>3-2 夜の飲食街活性化のための取組<br>3-3 地域活性化イベントの支援事業<br>3-4 与那原の水産物のブランド化<br>3-5 与那原マリーナ発マリンレジャーの創出<br>3-6 東海岸の特性を活かした早朝プログラム創出<br>3-7 西原町と連携したきらきらビーチの活用推進<br>3-8 クルーズ客のニーズに対応する仕組みの構築 |
| 【戦略4】<br>MICE 開催拠点と<br>しての魅力を活か<br>した交流拠点創出                             | ①大型 MICE 施設周辺整備<br>②MICE 開催に係るビジ<br>ネス振興<br>③MICE 受入プログラムの開発<br>④周辺地域連携                               | 4-1 大型 MICE 施設周辺整備<br>4-2 MICE マネジメント力強化<br>4-3 MICE プログラムに対応したメニューの充実<br>4-4 広域的な観光商品の開発                                                                                                            |
| 【戦略5】<br>沖縄で一番暮らし<br>やすいまちづくり                                           | ①生活環境（買い物、食、<br>文化等）<br>②利便性（アクセス）<br>③教育拠点<br>④医療・福祉                                                 | 5-1 民泊事業の推進<br>5-2 観光地美化活動<br>5-3 観光危機管理<br>5-4 レンタサイクル等での域内交通の充実<br>5-5 スポーツツーリズムの推進<br>5-6 ユニバーサルデザインによる受入環境整備                                                                                     |

## （２）「重点施策」と「推進計画」の考え方

本町において優先的取り組むべき３つの重点事項と、これらに関する施策を推進し、町全体へ波及を図る拠点として「観光拠点整備」を、それぞれ「重点施策」として位置付け、施策全体を牽引する位置付けとし推進を図ります。

この重点施策については、特に施策の実効性を高めるために「誰が」、「いつ」、「どこで・どのように」を明確にし、施策ごとに「重点施策の内容」、「具体的な施策の取組方」、「施策の効果」、「実施主体」、「実施時期」を明記し、計画的かつ戦略的な観光振興に向けた実施計画とします。

### ＜「重点施策」の考え方＞



### ＜推進計画の考え方＞

|            |                  |
|------------|------------------|
| 重点施策の内容    | 何をやるのかの明確化       |
| 具体的な施策の取組方 | どこでどのようにやるのかの明確化 |
| 施策の効果      | どうしてやるのかの明確化     |
| 実施主体       | 誰がやるのかの明確化       |
| 実施時期       | いつやるのかの明確化       |



(3)「与那原町観光実施計画」の施策体系

＜与那原町の観光振興基本理念＞ 人が輝く まちが輝く サンライズリゾート よなばる

＜観光実施計画の目標＞ (目標1) 与那原ブランドの構築と浸透、強化 (目標2) ツーリストに対するブランド価値の提供 (目標3) ツーリズムをきっかけにした住みやすさの実現

【施策体系】

【凡例】 ..... :準備段階 ——— :実施段階

| 基本戦略                                                            | 施策の方針            | 施策                         | 重点施策    | ページ<br>番号 | 実施主体 |         |          |         |    | 展開スケジュール      |               |                |                |                | K P I                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------|---------|-----------|------|---------|----------|---------|----|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                 |                  |                            |         |           | 行政   | 商工<br>会 | 観光<br>団体 | 事業<br>者 | 町民 | H30<br>(2018) | H31<br>(2019) | H32<br>(2020年) | H33<br>(2021年) | H34<br>(2022年) |                                                                                                               |
| 【戦略1】<br>情報発信を通した与那原のイ<br>メージの定着                                | ①観光コンテンツ等の情報発信   | 1-1 デジタル的な情報発信             | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P48       | ●    | ○       | ○        | ○       | ○  | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          | 知名度の向上<br>ポータルサイトアクセス数<br>(158,790PV→216,271PV)<br>沖縄南部にきた観光客の<br>本町の知名度<br>(20.8%→36.2%)                     |
|                                                                 |                  | 1-2 アナログ的な情報発信             | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P48       | ●    |         | ○        |         |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 1-3 MICEへの取組を含む町内への啓発・広報活動 | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P48       | ●    | ○       |          |         |    | .....         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ②よなばるブランドの構築     | 1-4 よなばるブランドの構築            | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P48       | ●    | ○       | ○        | ○       | ○  | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
| 【戦略2】<br>独特な歴史・文化と新たな魅力<br>を活かした新・与那原観光イメー<br>ジ創出               | ①与那原大綱曳活用        | 2-1 大綱曳体験ツアー               | I       | P35-38    | ●    |         | ○        | ○       |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          | 大綱曳の来訪者数<br>(18,000人→23,400人)<br>大綱曳の認知度<br>(未計測→現状の30.0%増)<br>軽便与那原駅舎の来訪者数<br>(7,907人→10,773人)               |
|                                                                 |                  | 2-2 「大綱曳」をテーマにした新規コンテンツの展開 | I       | P35-38    | ●    |         | ○        | ○       |    | .....         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ②「食」の魅力発掘・発信     | 2-3 食の魅力創出                 | (Ⅰ・Ⅱ)   | P49       | ○    |         |          | ●       |    |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ③まち歩きコンテンツの充実    | 2-4 まちあるきガイド養成・コースの充実      |         | P49       | ○    |         | ●        |         | ○  | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 2-5 拝所等文化資源の環境整備           |         | P49       | ●    |         |          |         |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 2-6 まちなみ環境の整備              |         | P50       | ●    |         |          |         |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 2-7 軽便駅舎の観光交流拠点に向けた取組      | IV      | P50       | ○    | ●       | ○        |         |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ④観光・ビジネス拠点整備     | 2-8 既存の建物を活用した事業所誘致        |         | P50       | ●    |         |          | ○       |    |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 2-9 多言語対応の環境整備             |         | P50       | ●    |         | ○        | ○       |    |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
| 【戦略3】<br>東海岸の特性及び地域の水資<br>源を活かした新たなマリンレ<br>ジャー及びウォーターフロント<br>創出 | ①水路沿いの賑わい創出      | 3-1 水路を活かした観光プログラムの構築      | Ⅱ       | P39-42    | ●    |         | ○        | ○       |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          | マリンレジャー及び水路<br>アクティビティー<br>プログラム数<br>(0件→5件)<br>イベント時の出店件数<br>(0件→15件)<br>住民意識調査による水辺<br>空間の評価<br>(未計測→50.0%) |
|                                                                 |                  | 3-2 夜の飲食街活性化のための取組         | Ⅱ       | P39-42    | ○    | ●       | ○        | ○       |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 3-3 地域活性化イベントの支援事業         | Ⅱ       | P39-42    | ●    | ○       | ○        | ○       |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ②与那原の水産物を活かした取組  | 3-4 与那原の水産物のブランド化          |         | P51       | ○    |         |          | ●       |    |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ③与那原マリーナ魅力発信     | 3-5 与那原マリーナ発マリンレジャーの創出     |         | P52       |      |         | ○        | ●       |    |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ④朝活イベント・プログラムの強化 | 3-6 東海岸の特性を活かした早朝プログラム創出   |         | P52       | ○    |         | ○        | ●       |    |               |               | .....          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ⑤きらきらビーチ連携       | 3-7 西原町と連携したきらきらビーチの活用推進   |         | P52       | ○    |         | ○        | ●       |    |               |               | .....          | .....          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ⑥クルーズ船の受入        | 3-8 クルーズ客のニーズに対応する仕組みの構築   |         | P52       | ●    |         | ○        | ○       |    |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
| 【戦略4】<br>MICE開催拠点としての魅力を活<br>かした交流拠点創出                          | ①大型MICE施設周辺整備    | 4-1 大型MICE施設周辺整備           |         | P53       | ●    |         |          |         |    | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          | 地域事業所のMICE産業請負数<br>(0社→20社)<br>アフターMICE受入プログラム<br>プログラム数<br>(0件→5件)                                           |
|                                                                 | ②MICE開催に係るビジネス振興 | 4-2 MICEマネジメント力強化          | Ⅲ       | P43-45    | ○    | ●       |          | ○       |    | .....         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ③MICE受入プログラムの開発  | 4-3 MICEプログラムに対応したメニューの充実  | Ⅲ       | P43-45    | ○    |         | ●        | ○       |    | .....         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ④周辺地域連携          | 4-4 広域的な観光商品の開発            |         | P53       | ○    |         | ●        | ○       |    | .....         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
| 【戦略5】<br>沖縄で一番暮らし<br>やすいまちづくり                                   | ①生活環境(買い物、食、文化等) | 5-1 民泊事業の推進                |         | P54       | ○    |         | ○        | ●       | ○  |               | .....         | .....          | —————          | —————          | 人口の増加<br>(19,568人→21,600人)                                                                                    |
|                                                                 |                  | 5-2 観光地美化活動                | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P54       | ●    |         | ○        |         | ○  | —————         | —————         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 |                  | 5-3 観光危機管理                 | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P54       | ●    |         | ○        | ○       |    |               |               | .....          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ②利便性(アクセス)       | 5-4 レンタサイクル等での域内交通の充実      |         | P55       | ●    |         | ○        |         | ○  |               | .....         | —————          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ③教育拠点            | 5-5 スポーツツーリズムの推進           |         | P55       | ●    |         | ○        | ○       |    |               |               | .....          | —————          | —————          |                                                                                                               |
|                                                                 | ④医療・福祉           | 5-6 ユニバーサルデザインによる受入環境整備    | (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | P55       | ●    |         |          |         | ○  |               |               | .....          | —————          | —————          |                                                                                                               |

#### (4) 重点施策における推進計画

| I. 大綱曳          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点施策の内容         | 本町の伝統行事である「与那原大綱曳」を歴史・文化面におけるブランドの核として位置付け、価値を再評価しつつ、より幅の広い人たちに、幅の広いシーンでブランド価値に触れ合ってもらえるようなコンテンツ開発と情報発信を実施します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 具体的な施策の<br>取組方法 | <p><b>(1) 着地型体験プログラムの構築</b></p> <p>1) プログラムの企画<br/>与那原大綱曳に旅行商品を通じて参加し、その魅力を十分に満喫し、本町にリピートしたくなるような旅行商品を将来的には民間事業所にて商品化し、自立したメニューとなるよう旅行会社の協力のもと企画します。<br/>【効果：大綱曳の満足度向上、情報の拡散、町内観光へのリピート】</p> <p>2) プログラムの検証・実施・ブラッシュアップ<br/>与那原大綱曳まつりの際に実際にモニターツアーを組んで、参加者に本町の様々なプログラムを体験してもらい、商品化に向けた料金の検討、メニューのブラッシュアップ等を行います。<br/>【効果：大綱曳の満足度向上、情報の拡散、町内観光へのリピート】</p> <p>3) プログラムの商品化<br/>民間事業所の自主事業として商品化を目指します。アフターMICE プログラムとしての活用も想定します。<br/>【効果：大綱曳の満足度向上、情報の拡散、町内観光へのリピート、消費額拡大】</p> <p><b>(2) 公共施設等を活用した PR 事業</b></p> <p>1) 実施事例の調査<br/>公用車や公共でつくる建築物等については、なるべくすべてに綱のデザインを施し、与那原にあればどこでも綱が見られるという状態にするため、他の市町村の事例をヒアリングし、より効果的な方法を検討します。<br/>【効果：大綱曳の認知度向上、ブランド化】</p> <p>2) 実施スキーム・効果の検証<br/>他の事例からより効果的な PR 方法を検討し、実際の事業化に向けて費用と効果の面も考慮しながら事業化に向けた企画を行います。<br/>【効果：大綱曳の認知度向上、ブランド化】</p> <p>3) 事業化<br/>公用車や公共でつくる建物等について、綱のデザインを施します。与那原にあれば様々なところで綱を目にする機会があり、“与那原といえば綱”というイメージの定着を図ります。その一つとして綱のデザインが施された原動機付自転車等のオリジナルナンバープレートの利用促進を図ります。<br/>【効果：大綱曳の認知度向上、ブランド化】</p> |

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>具体的な施策の<br/>取組方法</p> | <p>(3) 大綱曳を活用した商品開発</p> <p>大綱曳にちなんだ商品を構築・提供することを通じて、与那原大綱曳について知っていただき、与那原の歴史文化について知って頂くきっかけとします。</p> <p>引いては、口コミで魅力の発信や与那原観光に来訪したくなるような体験コンテンツを開発します。</p> <p>【効果：大綱曳の認知度向上、ブランド化、来訪者の消費額拡大】</p> <p>(4) 大綱曳の全国大会や世界大会等の実施</p> <p>1) 綱曳をテーマにした大会の企画</p> <p>“大綱曳のまち 与那原町”の象徴的な取組として、大綱曳にちなんだ体験の大会イベントの実施に向けた企画を行います。</p> <p>最初は本島南部での大会のような規模から、将来的には全県、全国、世界各地から集まるようなイベントに育てます。</p> <p>【効果：大綱曳の認知度向上、ブランド化】</p> <p>2) 関連団体等との調整</p> <p>与那原大綱曳の中心となる綱武士や与那原大綱曳実行委員会等関連する団体と連携し、事業の実現に向けて調整を行います。</p> <p>3) 事業の実施</p> <p>“大綱曳のまち 与那原町”の象徴的な取組として、大綱曳にちなんだ体験の大会を実施します。体験メニューの全県、全国、世界各地への水平展開についても意識した特長ある大会とします。</p> <p>【効果：大会を通じた取組の認知度向上、ブランド化】</p> <p>(5) 情報発信の取組</p> <p>“与那原といえば綱”というイメージの定着を図り知名度を向上させるため、デジタルとアナログの両媒体を活用した外部への情報発信や町内への情報発信（インナープロモーション）を行います。また、年間を通してホームページ上で「西（いり）」と「東（あがり）」のファン人数を競い合うなどゲーム性のある要素を取り入れること等も考えられます。</p> <p>【効果：大綱曳の認知度向上、ブランド化】</p> |
| <p>ターゲット</p>            | <p>町外の人／特にファミリー層／団体／チームビルディング</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>必要な調査</p>            | <p>ニーズ／参加者の客層／情報源／消費額／満足度／認知度</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>KPI</p>              | <p>当事業をきっかけにまつりに来場した人数<br/>与那原大綱曳の認知度、本町のブランド認知度</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## <主要施策の取組工程>

### (1) 着地型体験プログラムの構築

| 実施内容           | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|----------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) プログラムの構築    | 観光商工課 | 網武士会 | →    |     |     |     |     |
| 2) プログラムの検証・実施 | 事業者   | 網武士会 |      | →   | →   | →   | →   |

### (2) 公共施設を活用したPR活動

| 実施内容            | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|-----------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                 |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 実施事例の調査      | 観光商工課 | 観光団体 | →    | →   |     |     |     |
| 2) 実施スキーム・効果の検証 | 観光商工課 | 観光団体 |      | →   | →   |     |     |
| 3) 事業化          | 観光商工課 | 観光団体 |      |     | →   | →   | →   |

### (3) 大網曳を活用した商品開発

| 実施内容                   | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|------------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                        |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 開発ニーズの調査及び掘り起こし     | 観光商工課 | 網武士会 | →    |     |     |     |     |
| 2) 開発商品の公募及び開発企業に対する支援 | 観光商工課 | 網武士会 |      | →   |     |     |     |
| 3) 開発商品の販路拡大フォロー       | 事業者   | 網武士会 |      |     | →   | →   | →   |

### (4) 大網曳の全国大会や世界大会等の実施

| 実施内容                  | 実施主体  | 関連主体     | 実施年度 |     |     |     |     |
|-----------------------|-------|----------|------|-----|-----|-----|-----|
|                       |       |          | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 網曳をテーマにした大会イベントの企画 | 観光商工課 | まつり運営委員会 | →    | →   |     |     |     |
| 2) 実施案の検討             | 観光商工課 | まつり運営委員会 |      |     | →   |     |     |
| 3) 持続的な運営のための体制検討     | 事業者   | まつり運営委員会 |      |     |     | →   | →   |

### (5) 情報発信の取組

| 実施内容                             | 実施主体  | 関連主体                | 実施年度 |     |     |     |     |
|----------------------------------|-------|---------------------|------|-----|-----|-----|-----|
|                                  |       |                     | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| デジタルとアナログでの情報発信及び<br>インナープロモーション | 観光商工課 | 観光団体<br>ナンバープレート税務課 | →    | →   | →   | →   | →   |



## <達成イメージ>

時期：今から5年後

ターゲット：町民から浸透を図り、県内全域及び沖縄県を訪れる観光客へターゲットを広げる

### ◆大綱曳の聖地与那原町への観光客が増加している！！

- 去年大綱曳ツアーに参加した知人からの薦めで初めて与那原町を初めて訪れてみた。
- 与那原町ではどこに行っても大綱曳をイメージしたモチーフ等を見ることができ、町全体に大綱曳が浸透している熱い町だと感じた。
- 与那原大綱曳は最高の大迫力で、参加する全ての人が一體となり、ここに来ないと感じるこのできない力強さにパワーをもらった。
- 与那原町内のガイドの案内で文化財や、軽便駅舎をめぐり沖縄の文化やこれまでに発展の歴史について触れることができ歴史と伝統を感じることができた。
- 夜の飲食店では地元の人とも交流でき、ふるさとのような温かさを感じた。
- 与那原町ではタグロープの全国大会も行っているらしい。今度は、タグロープの全国大会の際に訪れてみようと思う。



一般参加が可能な体験メニュー例  
右上：前舞い  
右下：綱担ぎ



平成24年に開催されたタグロープ選手権 出典：与那原通



## Ⅱ. 水路

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点施策の内容         | 水路は町外の学生や町内の観光事業者等にも観光資源として活用すべきとの声が多く集まっており、観光資源として多くの可能性を持っています。この水路を活用し、いつでも人が集い、賑わいのある観光スポットとするため、コンテンツとなる食や環境を強化し、今後5年で民間事業者が参入できるスキームで事業を推進します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 具体的な施策の<br>取組方法 | <p><b>（１）カヌー乗船プログラムの構築</b></p> <p>1) カヌー無料体験イベント</p> <p>平成29年度に御殿山親水公園が供用開始をし、カヌーの乗り入れが可能な環境ができたため、そこからカヌー体験のイベントを無料でを行い、周知を図ります。</p> <p>【効果：水路とカヌー体験の認知度向上】</p> <p>2) カヌーイベント業者へのヒアリング及び自主事業としての実施に向けた調整</p> <p>上記のカヌー無料体験イベントを実施しながら並行して民間のカヌー体験の提供が可能な事業者へのヒアリング調査を行い、民間事業者独自で行うために必要な条件整備を進めます。</p> <p>【効果：民間事業者の視点を入れた施策の推進による具体化】</p> <p>3) カヌーイベント業者によるカヌー乗船プログラム（随時）の開催</p> <p>今後5年で民間事業者が主体となってカヌー体験がいつでもできる環境が整い、観光コンテンツの一つとして位置付けます。</p> <p>【効果：観光スポット・コンテンツとしての定着】</p> <p><b>（２）水路周辺への飲食店等の誘致による賑わいの創出</b></p> <p>1) マルシェ</p> <p>上記カヌーイベントと同時開催の食のイベントであるマルシェを開催します。開催にあたっては町内の飲食店の出店をメインとします。また、よなばるマルシェの開催により町内店舗への誘客促進を図ります。</p> <p>【効果：水路沿いの賑わい創出、町内店舗の知名度向上】</p> <p>2) 管理機関との協議</p> <p>水路の護岸の使用については、沖縄県との協議の上、スムーズな活用に向けた検討を行います。また、その他事業の推進にあたり許可等が必要な管理機関との調整を随時行います。</p> <p>【効果：水路沿いの賑わい創出】</p> <p>3) 誘致想定区域住民の意識調査（新島区・中島区）</p> <p>事業を行う上で会場となる水路沿い周辺の住民の意識調査を行い、住民と観光客が共存できる観光スポットの確立に向けた調整を行います。</p> <p>【効果：住民にとっても魅力的な観光地の形成】</p> <p>4) 商工会・飲食業関係者の意見聴取</p> <p>町内店舗の活性化及び新規店舗の水路沿いへの進出を目的に事業を行うため、実施主体となる商工会や飲食業関係者へ意見をヒアリングし、実際に実現可能な施策となるように推進します。</p> |

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>具体的な施策の<br/>取組方法</p> | <p>【効果：民間事業者の視点を入れた施策の推進による具体化】</p> <p>5) 金融機関の融資可能性調査</p> <p>民間事業者が水路沿いへ出店するにあたって金融機関から融資が必要になるケースが多いと想定されるため、金融機関の意向や融資の可能性を並行して調整します。</p> <p>【効果：金融のサポート強化による事業の自立化】</p> <p>6) 地元住民・飲食業者・金融機関との結びつけ</p> <p>民間事業者が水路沿いへの出店の意思を示したら、実際の出店に向け、金融機関からの融資を受けやすくなるよう支援します。また、周辺住民との合意も並行して行い、トラブル等がないよう配慮します。</p> <p>【効果：民間事業者主体による出店しやすい環境の実現】</p> <p>7) 民間事業者の水路周辺への出店</p> <p>今後5年間で最終的には民間事業者の水路周辺への出店が実現するようさまざまな環境整備や支援を行います。</p> <p>【効果：民間事業者主体による水路の賑わい創出、経済効果拡大】</p> <p><b>(3) (共通) 上記施策を実現するための環境整備</b></p> <p>1) 水路周辺の遊歩道整備（水路周辺の景観整備）</p> <p>水路周辺を歩いて楽しい街並みにするため、遊歩道の整備を行います。</p> <p>【効果：徒歩や自転車での町内周遊の促進】</p> <p>2) 水路周辺の緑化整備（水路周辺の景観整備）</p> <p>水路周辺を歩いて楽しい街並みにするため、緑化整備を行います。</p> <p>【効果：徒歩や自転車での町内周遊の促進】</p> <p>3) イルミネーションやランタンによるライトアップ（水路周辺の景観整備）</p> <p>水路周辺を夜も歩いて楽しい街並みにするためにライトアップを行い、夜間の力又一体験や飲食店の進出を目指します。</p> <p>【効果：夜の観光スポットとしてのコンテンツ強化】</p> <p>4) 地域住民参加による水辺空間の美化活動実施</p> <p>町民団体等の地域住民参加により水辺空間の美化活動を実施します。</p> <p>【効果：地域住民の地域への愛着の醸成】</p> <p>5) 水質改善</p> <p>水路の水質を改善することにより、力又一体験や水路沿いでの飲食をさらに快適で魅力あるものにします。水質改善は調査、工法選定、水質改善の実施という過程で今後5年間かけて実施します。</p> <p>【効果：快適な水辺環境の創出】</p> <p><b>(4) 情報発信の取組</b></p> <p>与那原の水路や力又一体験のイメージの定着を図り認知度を向上させるため、デジタルとアナログの両媒体を活用した外部への情報発信や町内への情報発信</p> |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|                 |                                                                                                                    |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 具体的な施策の<br>取組方法 | <p>（インナープロモーション）を行います。</p> <p>また、本町の魅力を効果的に発信するために、水路のブランディングを意識した呼称の公募を行います。</p> <p>【効果：水路とカヌー体験の認知度向上、ブランド化】</p> |
| ターゲット           | 町民から浸透を図り、県内全域及び沖縄県を訪れる観光客へターゲットを広げます                                                                              |
| 必要な調査           | 水路沿いに進出できる民間事業者／カヌー体験参加者／水質調査<br>参加者の満足度調査／住民の意識調査                                                                 |
| KPI             | 住民意識調査による水辺空間の評価／水路カヌー体験者数<br>各種イベント参加者数／本町のブランド認知度／カヌー体験者の満足度                                                     |

### ＜主要施策の取組工程＞

#### （１）カヌー乗船体験プログラムの構築

| 実施内容                                  | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|---------------------------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                                       |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) カヌー無料体験イベント                        | 観光商工課 | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 2) カヌーイベント業者へのヒアリング及び自主事業としての実施に向けた調整 | 観光商工課 | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 3) カヌーイベント業者によるカヌー乗船プログラム(随時)の開催      | 事業者   | 観光団体 |      |     |     |     |     |

#### （２）水路周辺への飲食店等の誘致による賑わいの創出

| 実施内容                          | 実施主体  | 関連主体        | 実施年度     |     |     |     |     |
|-------------------------------|-------|-------------|----------|-----|-----|-----|-----|
|                               |       |             | H30      | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 親水公園マルシェ                   | 観光商工課 | 商工会<br>観光団体 |          |     |     |     |     |
| 2) 管理機関との協議                   | 観光商工課 | まちづくり課      |          |     |     |     |     |
| 3) 誘致想定区域住民の意識調査<br>(新島区・中島区) | 観光商工課 | 商工会         |          |     |     |     |     |
| 4) 商工会・飲食業関係者の意見聴取            | 観光商工課 | 商工会<br>観光団体 |          |     |     |     |     |
| 5) 金融機関の融資可能性調査               | 観光商工課 | 商工会<br>観光団体 |          |     |     |     |     |
| 6) 地元住民・飲食業者・金融機関との結びつけ       | 観光商工課 | 観光団体        |          |     |     |     |     |
| 7) 民間事業者の水路周辺への出店             | 事業者   | 観光団体        | 平成35年度以降 |     |     |     |     |

#### （３）（共通）上記施策を実現するための環境整備

| 実施内容                                    | 実施主体                                  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|-----------------------------------------|---------------------------------------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                                         |                                       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 水路周辺の景観整備<br>・水路周辺の遊歩道整備             | まちづくり課                                | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 2) 水路周辺の景観整備<br>・水路周辺の緑化整備              | まちづくり課                                | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 3) 水路周辺の景観整備<br>・イルミネーションやランタンによるライトアップ | 観光商工課<br><small>与那原まちづくり推進協議会</small> | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 4) 住民参加による水辺空間の美化活動実施                   | 生活環境安全課                               | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 5) 水質改善<br>・工法選定、水質改善実施、効果検証            | 生活環境安全課                               | 観光団体 |      |     |     |     |     |

#### （４）情報発信の取組

| 実施内容                         | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|------------------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                              |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| デジタルとアナログでの情報発信及びインナープロモーション | 観光商工課 | 観光団体 |      |     |     |     |     |

## ＜達成イメージ＞

時期：今から5年後

ターゲット：町民から浸透を図り、県内全域及び沖縄県を訪れる観光客へターゲットを広げる

### ◆東浜水路を満喫する！！

- 水路沿いに遊歩道が整備されており、水辺を楽しむことができる。水路では、家族でも楽しむことができるカヌーの体験プログラムが運行されている。
- 水路周辺の空き地や空き店舗等を活用して飲食店等が出店され、観光スポットとして定着している。
- 水路から町内の商店街や飲食店に人の流れができ、町内の店舗がにぎわい、本町に出店したがる店舗が続出している。
- 水路沿いの遊歩道の西側は、地元の方々の憩いのスペースとして定着しているようで、ウォーキングや犬の散歩などで、多くの人が水路沿いを歩いている。
- 観光客だけでなく、町民も水路を好んでおり、観光客と町民の交流の場となっている。



東浜水路の整備イメージ



### Ⅲ. MICE

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点施策の内容         | 大型 MICE 施設における MICE の開催により新たな交流人口が創出され、これをきっかけにした新規ビジネスの創出が期待されます。このようなビジネス機会を活用するためには、MICE の開催の関連ビジネスや、アフターMICE の受入体制を整備し、地域における経済効果の創出に向けた準備を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 具体的な施策の<br>取組方法 | <p><b>(1) MICE マネジメント力強化</b></p> <p>1) 大型 MICE 施設のビジネスチャンスに関する啓蒙活動</p> <p>大型 MICE 施設における MICE 開催を見据え、MICE の開催に付随して見込まれる関連サービスの受注に向けて地域事業者のネットワーク構築を図るため、地元事業者に対し説明会を行います。具体的には、商工会を中心に立ち上げている受注組織への参加企業の増加を図ります。</p> <p>【効果：地元事業者の MICE 産業への参入のモチベーションを上げる】</p> <p>2) 地元事業者に向けた MICE ビジネスに関する取組</p> <p>大型 MICE 施設の動向を踏まえながら開業に向けた地元事業所の参画増加を目指し、ビジネスチャンスの獲得に向けた取組を行うための勉強会を行います。</p> <p>また、本町で開催されるイベント等と連携して、地元事業者の育成を図ります。</p> <p>【効果：MICE ビジネスについて熟知した事業者が増える】</p> <p>3) MICE 専門会社との連携</p> <p>MICE に関わる仕事を直接受注している会社と連携し、仕事を受けられる関係を構築します。</p> <p>【効果：業務拡大を通じた地域事業者の受注拡大・経済効果拡大】</p> <p>4) ニーズに合ったサービスの提供</p> <p>MICE 開催に付随して見込まれる関連サービスについて、受注組織を通じて MICE 主催者側へのサービス提供を実施します。主催者側のニーズを踏まえ受注業務の拡大を図ります。</p> <p>【効果：業務拡大を通じた地域事業者の受注拡大・経済効果拡大】</p> <p><b>(2) MICE プログラムに対応したメニューの充実</b></p> <p>1) 地域で提供できるメニューのブラッシュアップ</p> <p>平成 28 年度に開発しているアフターMICE メニューを需要に対応できるようブラッシュアップを行います。</p> <p>【効果：地域における体験コンテンツにおけるアフターMICE 需要の対応力向上】</p> <p>2) 新規メニューの創出</p> <p>地域へのメリットを最大化するため、アフターMICE や MICE プログラムとして活用できるメニューを開発し、様々なニーズに対応できるようにします。</p> <p>【効果：地域における体験コンテンツにおけるアフターMICE 需要の対応力向上】</p> <p>3) メニューのモニタリング及び商品化</p> <p>アフターMICE の需要に対応できるよう地域側で提供できる体験プログラムについて充実を図り、商品案について検証・モニタリングを行い、商品化を行います。</p> |

|             |                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 具体的な施策の取組方法 | <p>実際に県内で行われている催事でも活用し、受入の質の向上を図ります。<br/>【効果：地域における体験コンテンツにおけるアフターMICE 需要の対応力向上】</p> <p><b>(3) 情報発信の取組</b></p> <p>与那原に立地する大型 MICE 施設の認知度を向上させるため、デジタルとアナログの両媒体を活用した外部への情報発信や町内への情報発信（インナープロモーション）を行います。<br/>【効果：町内外からの大型 MICE 施設の認知度向上】</p> |
| ターゲット       | <p>MICE の受発注を行う運営業者</p> <p>MICE を目的とする来訪者及びその家族</p> <p>（(3) については町民を含む）</p>                                                                                                                                                                 |
| 必要な調査       | <p>MICE の主催者に対するニーズ調査</p> <p>MICE を目的に来訪する客の動向及びニーズ調査</p> <p>町民の MICE に対する意識及び認知度</p>                                                                                                                                                       |
| KPI         | MICE 産業請負数／アフターMICE プログラム数                                                                                                                                                                                                                  |

### ＜主要施策の取組工程＞

#### (1) MICEマネジメント力強化

| 実施内容                                | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|-------------------------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                                     |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 大型MICE施設のビジネスチャンスに関する啓蒙活動        | 観光商工課 | 商工会  |      |     |     |     |     |
| 2) 地元事業者に向けた町内事業者のMICEビジネス力強化に関する取組 | 観光商工課 | 商工会  |      |     |     |     |     |
| 3) MICE専門会社との連携                     | 事業者   | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 4) ニーズに合ったサービスの提供                   | 事業者   | 観光団体 |      |     |     |     |     |

#### (2) MICEプログラムに対応したメニューの充実

| 実施内容                     | 実施主体           | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|--------------------------|----------------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                          |                |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 地域で提供できるメニューのブラッシュアップ | 事業者<br>(観光商工課) | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 2) 新規メニューの創出             | 事業者<br>(観光商工課) | 観光団体 |      |     |     |     |     |
| 3) メニューのモニタリング及び商品化      | 事業者            | 観光団体 |      |     |     |     |     |

#### (3) 情報発信の取組

| 実施内容                         | 実施主体           | 関連主体        | 実施年度 |     |     |     |     |
|------------------------------|----------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|
|                              |                |             | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| デジタルとアナログでの情報発信及びインナープロモーション | 企画政策課<br>観光商工課 | 商工会<br>観光団体 |      |     |     |     |     |

## <達成イメージ>

時期：今から5年後

ターゲット：MICE 施設の運営者とのタッグにより運営サービスやアフターMICE の良好な評判を構築している

### ◆MICE 関連産業が地域産業として取り組まれている！！

- 来月末には、沖縄県の大型 MICE 施設にて国際的な大規模展示会の開催が予定されている。
- 展示会における設営から撤去、事務局の運営支援を町内及び周辺市町村の事業所が担うことが決まっている。
- 中規模イベントを受注し、イベント開催の3ヶ月前には、一通りの運営ノウハウが蓄積できている。
- 地元には拠点があるため、交通渋滞に合う心配もなくオペレーションは万全である。
- イベント終了後は、地域の体験プログラムをアフターツアーとして設定しており、町内が賑やかになる。

<与那原マリーナでのランチの提供>



<リズムなぎなたでのチームビルディング>



| 観光拠点整備      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観光拠点整備の内容   | 本町における観光・交流の拠点として軽便与那原駅舎を位置づけ、町内の観光の拠点として、町民には愛されつつも、観光客に立ち寄ってもらい、与那原を回遊するきっかけとなるスポットとなることを目指します。観光拠点の機能としては「情報発信機能」、「体験創出・提供機能」、「物販機能」の強化を図り、町内の回遊性向上の要となるよう環境整備を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 具体的な整備の取組方法 | <p><b>（１）情報発信機能</b></p> <p>１）観光ポータルサイト等の SNS を活用した情報の発信</p> <p>町内における観光情報を集約して提供し、回遊性の向上を図ります。観光ポータルサイト「YONABARU NAVI」や、その他 SNS と連携した情報発信を行います。</p> <p>【効果：町内の回遊性の向上】</p> <p>２）地域コンテンツの活用</p> <p>本町の歴史や要衝として機能してきた背景等の発信や、地域コンテンツとの結びつけを行い、拠点としての魅力向上を図ります。</p> <p>また、「沖縄県鉄道与那原線開通周年記念イベント」を通じたブランド価値の発信に取り組みます。</p> <p>【効果：拠点自体の観光資源としての価値の向上】</p> <p><b>（２）体験創出・提供機能</b></p> <p>１）体験プログラムの提供</p> <p>鉄道のパーパークラフトや駅舎周辺の VR（仮想現実）体験プログラムの提供を行い、体験を通じて軽便与那原駅舎のコンテンツの強化を図ります。</p> <p>【効果：観光体験提供のプラットフォームとして機能提供】</p> <p>２）環境整備の実施</p> <p>展示施設や周辺整備等のハード面からの取組を進めます。</p> <p>また、新規体験プログラムのテストマーケティングの場としての活動に活用できるよう、環境整備の実施を検討します。</p> <p>さらに、駅舎コンテンツの強化による魅力ある展示物等の充実を図ります。</p> <p>【効果：新規体験プログラムの創出の促進】</p> <p><b>（３）物販機能</b></p> <p>１）与那原町の特産品販売</p> <p>物産等の販売を通じた魅力の発信を行います。本町の産品にこだわった展開を図ります。</p> <p>【効果：販売を通じた価値の発信】</p> |
| ターゲット       | 将来的には、県外観光客や、海外からの観光客が周遊する観光地域を目指します。そのために、町民と同数の「県内観光客」、「県外観光客」の来訪する場としての拠点整備を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



|     |                                                                                        |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内からの観光客数</li> <li>・外国人も含む県外からの観光客数</li> </ul> |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------|

## <主要施策の取組工程>

### (1) 情報発信機能

| 実施内容                        | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|-----------------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                             |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 観光ポータルサイト等のSNSを活用した情報の発信 | 観光商工課 | 観光団体 | →    |     |     |     |     |
| 2) 地域コンテンツの活用               | 観光商工課 | 観光団体 | →    |     |     |     |     |

### (2) 体験創出・提供機能

| 実施内容                      | 実施主体  | 関連主体 | 実施年度 |     |     |     |     |
|---------------------------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|                           |       |      | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 1) 与那原町の特徴を活かした体験プログラムの提供 | 観光団体  | 事業者  | →    |     |     |     |     |
| 2) 環境整備の実施                | 観光商工課 | 観光団体 | →    |     |     |     |     |

### (3) 物販機能

| 実施内容       | 実施主体  | 関連主体        | 実施年度 |     |     |     |     |
|------------|-------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|
|            |       |             | H30  | H31 | H32 | H33 | H34 |
| 与那原町の特産品販売 | 観光商工課 | 商工会<br>観光団体 | →    |     |     |     |     |

## (5) 各施策における推進計画

### 1) 【戦略 1】情報発信を通じた与那原のイメージの定着

#### 1-1 デジタル的な情報発信

- デジタルメディアを活用した情報発信の充実を図ります。具体的には、与那原ナビのコンテンツの充実を図るとともに、ソーシャルメディアを活用し、与那原の旬な情報の発信や、ソーシャルメディアを通じたファンクラブコミュニティの形成に取り組みます。
- 数値分析等のマニュアルの作成・人材育成を行います。

#### 1-2 アナログ的な情報発信

- テレビ、ラジオ、広告、旅行雑誌等のメディアを活用した情報を実施します。
- ガイドブック・リーフレットを通じた情報発信を実施します。

#### 1-3 MICE への取組を含む町内への啓発・広報活動

- 本町のブランド価値について町内への情報発信（インナープロモーション）を行います。ブランド価値について学ぶ勉強会の開催や、広報誌・ポスター等での啓発活動、MICE についての理解や促進のための PR などを実施します。
- 電光掲示板等を活用した情報発信町内への情報発信を行います。

#### 1-4 よなばるブランドの構築

- 与那原町のブランドの核となる要素を見出し、地域ブランドの確立を図ります。
- 確立されたブランドを町内外への情報発信やコンテンツ開発に活用します。

### ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■：準備段階

■■■■：実施段階

| 取組                          | 取組のスケジュール |     |     |     |     | 実施主体 |     |      |     |    |
|-----------------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|----|
|                             | H30       | H31 | H32 | H33 | H34 | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 1-1 デジタル的な情報発信              |           |     |     |     |     | ●    | ○   | ○    | ○   | ○  |
| 1-2 アナログ的な情報発信              |           |     |     |     |     | ●    |     | ○    |     |    |
| 1-3 MICE への取組を含む町内への啓発・広報活動 | ■ ■ ■ ■   |     |     |     |     | ●    | ○   |      |     |    |
| 1-4 よなばるブランドの構築             |           |     |     |     |     | ●    | ○   | ○    | ○   | ○  |

### <与那原ナビ>



### <情報発信のイメージ>

(JTA 機内誌 Coralway) >



## 2)【戦略 2】独特な歴史・文化と新たな魅力を活かした新・与那原観光イメージ創出

### 2-1 大綱曳体験ツアー

(※「重点施策Ⅰ大綱曳」に記載)

### 2-2 「大綱曳」をテーマにした新規コンテンツの展開

(※「重点施策Ⅰ大綱曳」に記載)

### 2-3 食の魅力創出

- 本町の名物である「与那原そば」のブランド化を図ります。
- 農商工連携により、新たな特産品の開発を検討します。
- 夜の「食」の魅力をさらに掘り出し、情報発信を行います。

### 2-4 まちあるきガイド養成・コースの充実

- 研修会やガイドの登録制度を通じて、まち歩きガイドの養成を行い、合わせてまちあるきコースの充実を図ります。
- まちあるきスポットを整備し、内外にPRをしつつまち歩き環境の充実を図ります。

### 2-5 拝所等文化資源の環境整備

- 御殿山、親川などの文化資源に関わる環境整備を検討します。
- 三津武嶽の改修・展望台の整備について検討します。
- 運玉森の歴史文化資源としての活用を検討します。
- 桜の植樹の実施を検討します。

## ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■：準備段階

■■■■：実施段階

| 取組                         | 取組のスケジュール |      |      |      |     | 実施主体 |     |      |     |    |
|----------------------------|-----------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|----|
|                            | H30       | H31  | H32  | H33  | H34 | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 2-1 大綱曳体験ツアー               | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ |     | ●    |     | ○    | ○   |    |
| 2-2 「大綱曳」をテーマにした新規コンテンツの展開 | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ |     | ●    |     | ○    | ○   |    |
| 2-3 食の魅力創出                 |           | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ |     | ○    |     |      | ●   |    |
| 2-4 まちあるきガイド養成・コースの充実      | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ |     | ○    |     | ●    |     | ○  |
| 2-5 拝所等文化資源の環境整備           | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ |     | ●    |     |      |     |    |

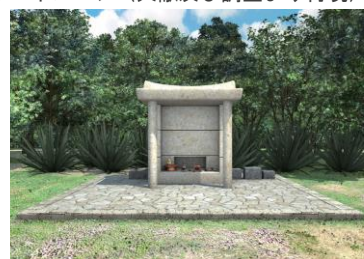
＜郷土料理「与那原そば」＞



＜吉祥院まちあるき（京都市）＞



＜CG イメージ（文献及び調査より再現）＞



参考：与那原歴史の道 与那原町教育委員会

## 2-6 まちなみ環境の整備

- まちなみ環境整備に向けた方向性の合意を図り、景観条例や景観計画に基づいた、まちなみ環境の整備を検討します。
- 公共空間の美装化や緑化整備、民間建築物の修景等の促進を図ります。

## 2-7 軽便駅舎の観光交流拠点に向けた取組

(※「重点施策 観光拠点整備」に記載)

## 2-8 既存の建物を活用した事業所誘致

- 既存の倉庫を商業施設やレストラン等への再構築（リノベーション）による活用を行い、事業所の誘致を進めます。

## 2-9 多言語対応の環境整備

- 外国人目線で調査及び対応すべき課題を特定し、多言語案内、Wi-Fi の充実、決済環境の多様化・充実といった対応を実施します。
- 町内事業者を外国人の多い観光地等へ派遣し、意識啓発を図ります。

### ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■ : 準備段階 ■■■■ : 実施段階

| 取組                    | 取組のスケジュール |       |     |     |     | 実施主体 |     |      |     |    |
|-----------------------|-----------|-------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|----|
|                       | H30       | H31   | H32 | H33 | H34 | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 2-6 まちなみ環境の整備         |           |       |     |     |     | ●    |     |      |     |    |
| 2-7 軽便駅舎の観光交流拠点に向けた取組 |           |       |     |     |     | ○    | ●   | ○    |     |    |
| 2-8 既存の建物を活用した事業所誘致   |           | ■ ■ ■ |     |     |     | ●    |     |      | ○   |    |
| 2-9 多言語対応の環境整備        |           | ■ ■ ■ |     |     |     | ●    |     | ○    | ○   |    |

＜まちなみのイメージ＞



＜軽便与那原駅舎展示資料館＞



＜倉庫活用イメージ＞





### 3) 【戦略 3】東海岸の特性及び地域の水資源を活かした新たなマリンレジャー及びウォーターフロント創出

#### 3-1 水路を活かした観光プログラムの構築

(※「重点施策Ⅱ水路」に記載)

#### 3-2 夜の飲食街活性化のための取組

(※「重点施策Ⅱ水路」に記載)

#### 3-3 地域活性化イベントの支援事業

(※「重点施策Ⅱ水路」に記載)

#### 3-4 与那原の水産物のブランド化

○体験メニューの推進拡充を図ります。

○漁業協同組合や地域事業者と連携し、ご当地メニューの開発・展開を検討します。

○漁業協同組合等と連携し、海産物直売所の整備を検討します。

○お土産品の開発や関連企業との連携促進を検討します。

#### ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■ : 準備段階

———— : 実施段階

| 取組                    | 取組のスケジュール |      |      |      |      | 実施主体 |     |      |     |    |
|-----------------------|-----------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|----|
|                       | H30       | H31  | H32  | H33  | H34  | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 3-1 水路を活かした観光プログラムの構築 | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ●    |     | ○    | ○   |    |
| 3-2 夜の飲食街活性化のための取組    | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ○    | ●   | ○    | ○   |    |
| 3-3 地域活性化イベントの支援事業    | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ●    | ○   | ○    | ○   |    |
| 3-4 与那原の水産物のブランド化     |           | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ○    |     |      | ●   |    |

＜護岸整備及び遊歩道整備＞



＜軽便市＞



＜特産品のひじき＞



参考：平成 24 年度 沖縄振興交付金事業計画

### 3-5 与那原マリーナ発マリンレジャーの創出

- 与那原マリーナと連携し、マリンアクティビティの充実やマリンスポーツイベントの誘致を図ります。
- マリーナ周辺的环境整備を検討します。

### 3-6 東海岸の特性を活かした早朝プログラム創出

- きらきらビーチや与那原マリーナと連携した朝ヨガや朝 SUP 等の体験メニューを開発します。
- 朝食の提供も兼ねた朝イベントを実施を検討します。

### 3-7 西原町と連携したきらきらビーチの活用推進

- 朝の時間を活用したプログラムの実施を検討します。
- マリーナときらきらビーチの連携イベントや回遊行動の促進を図ります。

### 3-8 クルーズ客のニーズに対応する仕組みの構築

- クルーズ客ニーズ調査を検討します。
- 民間事業者と連携したおみやげ、観光メニューの開発を検討します。
- クルーズ船から陸への搬送、陸内周遊の仕組みづくりを図ります。

## ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■：準備段階 ■■■■■■：実施段階

| 取組                        | 取組のスケジュール |     |       |       |       | 実施主体 |     |      |     |    |
|---------------------------|-----------|-----|-------|-------|-------|------|-----|------|-----|----|
|                           | H30       | H31 | H32   | H33   | H34   | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 3-5 与那原マリーナ発マリンレジャーの創出    |           | ■■■ | ■■■■■ | ■■■■■ |       |      |     | ○    | ●   |    |
| 3-6 東海岸の特性を活かした早朝プログラムの創出 |           |     | ■■■   | ■■■■■ |       | ○    |     | ○    | ●   |    |
| 3-7 西原町と連携したきらきらビーチの活用推進  |           |     | ■■■   | ■■■■■ | ■■■■■ | ○    |     | ○    | ●   |    |
| 3-8 クルーズ客のニーズに対応する仕組みの構築  |           | ■■■ | ■■■■■ |       |       | ●    |     | ○    | ○   |    |

<マリンレジャーの実施>



<アガリティーダを見るプログラム>



<きらきらビーチ>



#### 4) 【戦略 4】MICE 開催拠点としての魅力を活かした交流拠点創出

##### 4-1 大型 MICE 施設周辺整備

- 沖縄県と連携した大型 MICE 施設周辺整備としてグリーンパスの設置や宿泊施設の誘致、無電柱化、サイン看板等の設置を検討します。

##### 4-2 MICE マネジメント力強化

(※「重点施策ⅢMICE」に記載)

##### 4-3 MICE プログラムに対応したメニューの充実

(※「重点施策ⅢMICE」に記載)

##### 4-4 広域的な観光商品の開発

- 東海岸地域サンライズ推進協議会をはじめ、周辺市町村の観光資源の洗い出しを行います。
- 周辺市町村と連携した広域の情報を記載したマップを作成します。
- アフターMICE メニューの開発を検討します。
- 広域 DMO 組織の構築を検討します。

#### ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■：準備段階 ■■■■：実施段階

| 取組                         | 取組のスケジュール |     |     |     |     | 実施主体 |     |      |     |    |
|----------------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|----|
|                            | H30       | H31 | H32 | H33 | H34 | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 4-1 大型 MICE 施設周辺整備         |           |     |     |     |     | ●    |     |      |     |    |
| 4-2 MICE マネジメント力強化         | ■ ■ ■     |     |     |     |     | ○    | ●   |      | ○   |    |
| 4-3 MICE プログラムに対応したメニューの充実 | ■ ■ ■     |     |     |     |     | ○    |     | ●    | ○   |    |
| 4-4 広域的な観光商品の開発            | ■ ■ ■     |     |     |     |     | ○    |     | ●    | ○   |    |

＜与那原マリーナでのランチの提供＞



＜リズムなぎなたでのチームビルディング＞



## 5) 【戦略 5】沖縄で一番暮らしやすいまちづくり

### 5-1 民泊事業の推進

- 民泊事業者のネットワークを構築し、安心安全な許可民泊の推進を図ります。
- 与那原大綱曳まつりの際のイベント民泊の実施を検討します。

### 5-2 観光地美化活動

- 軽便駅舎や道路沿い等の定期的な草刈りを行います。

### 5-3 観光危機管理

- 災害時を想定し、地域事業所や近隣市町村、県と連携して観光危機管理マニュアルを策定します。

## ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■■：準備段階

■■■■：実施段階

| 取組          | 取組のスケジュール |      |      |      |      | 実施主体 |     |      |     |    |
|-------------|-----------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|----|
|             | H30       | H31  | H32  | H33  | H34  | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 5-1 民泊事業の推進 |           | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ○    |     | ○    | ●   | ○  |
| 5-2 観光地美化活動 | ■■■■      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ●    |     | ○    |     | ○  |
| 5-3 観光危機管理  |           |      | ■■■■ | ■■■■ | ■■■■ | ●    |     | ○    | ○   |    |

＜民泊のイメージ（沖縄県八重瀬町 結縁）＞



＜観光危機管理取組イメージ（沖縄県）＞



＜観光地の緑化及び美化の取組イメージ＞





#### 5-4 レンタサイクル等での域内交通の充実

- 導入のためのニーズ、ルート、本町に合ったスタイルの調査を検討します。
- 近隣市町村と連携し、合同実施に向けた調整を行います。

#### 5-5 スポーツツーリズムの推進

- 観光交流施設でのスポーツイベント等の開催促進を図ります。
- スポーツキャンプ等の誘致を検討します。

#### 5-6 ユニバーサルデザインによる受入環境整備

- 子育て世代等が憩い、安心して楽しめる環境整備の推進を図ります。
- 障がい者等も暮らしやすい町のイメージ創出のためのイベントを実施します。

### ★取組の実施内容

【凡例】 ■■■：準備段階 ■■■■■：実施段階

| 取組                      | 取組のスケジュール |     |       |       |       | 実施主体 |     |      |     |    |
|-------------------------|-----------|-----|-------|-------|-------|------|-----|------|-----|----|
|                         | H30       | H31 | H32   | H33   | H34   | 行政   | 商工会 | 観光団体 | 事業者 | 町民 |
| 5-4 レンタサイクル等での域内交通の充実   |           | ■■■ | ■■■■■ | ■■■■■ | ■■■■■ | ●    |     | ○    |     | ○  |
| 5-5 スポーツツーリズムの推進        |           |     | ■■■   | ■■■■■ | ■■■■■ | ●    |     | ○    | ○   |    |
| 5-6 ユニバーサルデザインによる受入環境整備 |           |     | ■■■   | ■■■■■ | ■■■■■ | ●    |     |      |     | ○  |

<レンタサイクルの導入>



<スポーツツーリズムイベント イメージ>



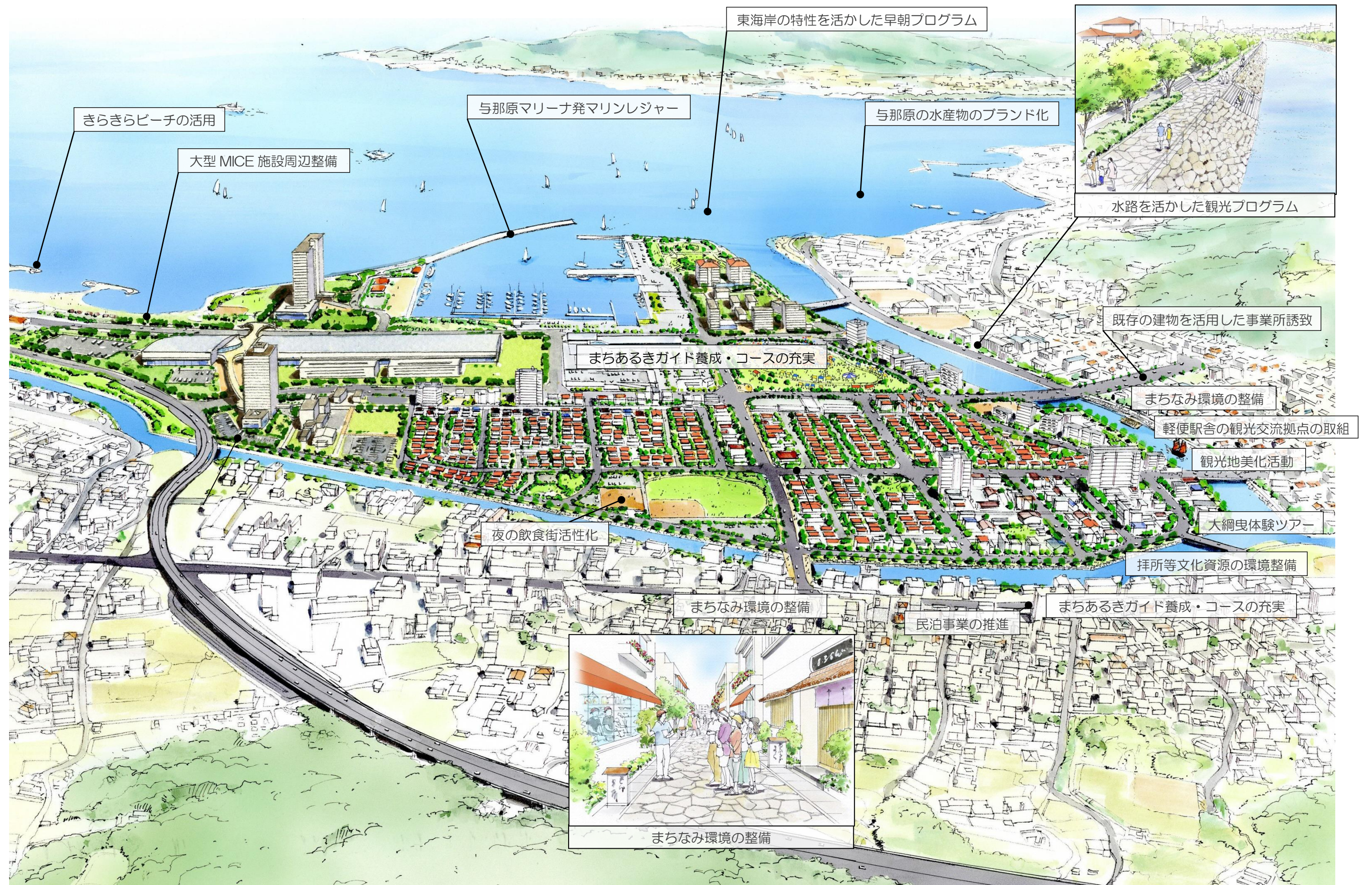
### 1) 施策展開イメージ図





## 2) 将来像の達成イメージ

ここでは、与那原町観光計画に基づき、それぞれの取組が事業展開する中で、本町の各施策が達成された将来像のイメージを描きました。





## 4. 5 取組の効果を検証するための目標水準

本計画に基づく観光振興への取組効果を測る指標として、以下の数値目標を定めます。

目標水準については、進捗状況を確認しながらPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルに基づき、必要に応じて目標水準及び事業内容の見直しを図ります。

なお、現時点においては観光振興に向けた基準値が把握できていない指標も多く、「基本目標」と、「強化目標」を定め計画期間中においても、進捗管理体制の強化を図ります。

また、大型 MICE 施設整備の進捗状況に応じて、新たな目標数値の導入を検討します。

### ①本町の情報発信・ブランド強化

＜基本目標＞

#### ○ポータルサイトアクセス数

| 指標            | 現状 H29          | 初年度 H30 | 中間値 H32                         | 目標値 H34                         | 備考                     |
|---------------|-----------------|---------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------|
| ポータルサイトのアクセス数 | 158,790PV<br>※1 | —       | 195,152PV<br>(現状の 22.9%増)<br>※2 | 216,271PV<br>(現状の 36.2%増)<br>※2 | ●ポータルサイト(与那原ナビ)へのアクセス数 |

※1:平成 29 年 1 月～12 月の値

※2:軽便駅舎の来訪者目標の伸び率を基に設定。

#### ○本町の知名度

| 指標     | 現状 H26         | 初年度 H30              | 中間値 H32                   | 目標値 H34                   | 備考                             |
|--------|----------------|----------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| 本町の知名度 | 20.8%<br>(参考値) | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>(現状の 22.9%増)<br>※ | (同左)<br>(現状の 36.2%増)<br>※ | ●来沖経験のある県外在住者で「与那原町」を知っている人の割合 |

※軽便駅舎の来訪者目標の伸び率を基に設定。

＜強化目標＞

#### ○ブランドの認知度

| 指標         | 現状 H29 | 初年度 H30              | 中間値 H32                   | 目標値 H34                   | 備考                              |
|------------|--------|----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 本町のブランド認知度 | (未計測)  | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>(現状の 22.9%増)<br>※ | (同左)<br>(現状の 36.2%増)<br>※ | ●与那原町民で本町ブランドを表すキーワードを知っている人の割合 |

※軽便駅舎の来訪者目標の伸び率を基に設定。

#### ○訪問者満足度

| 指標     | 現状 H29 | 初年度 H30              | 中間値 H32   | 目標値 H34   | 備考                    |
|--------|--------|----------------------|-----------|-----------|-----------------------|
| 訪問者満足度 | (未計測)  | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>※ | (同左)<br>※ | ●県外観光客の「満足度評価」の結果の平均値 |

※訪問者の満足度は、平成 30 年に満足度を計測し、現状の満足要因や不満足要因を分析の後設定する。



## ②歴史文化を活かしたツーリズムの創出

### <基本目標>

#### ○与那原大綱曳まつりの来訪者数

| 指標             | 現状 H28   | 初年度 H30 | 中間値 H32                  | 目標値 H34                  | 備考          |
|----------------|----------|---------|--------------------------|--------------------------|-------------|
| 与那原大綱曳まつりの来訪者数 | 18,000 人 | —       | 21,500 人<br>(現状の 19.4%増) | 23,400 人<br>(現状の 30.0%増) | ●大綱曳祭りの来訪者数 |

#### ○与那原大綱曳まつりの認知度

| 指標            | 現状 H29 | 初年度 H30              | 中間値 H32              | 目標値 H34              | 備考                               |
|---------------|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------------------|
| 与那原大綱曳まつりの認知度 | (未計測)  | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>(現状の 19.4%増) | (同左)<br>(現状の 30.0%増) | ●来沖経験のある県外在住者で「与那原大綱曳」を知っている人の割合 |

※与那原大綱曳まつりの来訪者目標の伸び率を基に設定。

#### ○軽便与那原駅舎の来訪者数

| 指標           | 現状 H28  | 初年度 H30 | 中間値 H32                 | 目標値 H34                  | 備考            |
|--------------|---------|---------|-------------------------|--------------------------|---------------|
| 軽便与那原駅舎の来訪者数 | 7,907 人 | —       | 9,717 人<br>(現状の 22.9%増) | 10,773 人<br>(現状の 36.2%増) | ●軽便与那原駅舎の来訪者数 |

## ③東海岸特性及び水資源を活かしたツーリズムの創出

### <基本目標>

#### ○アクティビティプログラム数

| 指標             | 現状 H29 | 初年度 H30 | 中間値 H32 | 目標値 H34 | 備考                      |
|----------------|--------|---------|---------|---------|-------------------------|
| マリン・水路アクティビティ数 | 0 件    | —       | 2 件     | 5 件     | ●マリン・水路アクティビティの新規商品化の件数 |

#### ○イベント時の出店件数

| 指標         | 現状 H29 | 初年度 H30 | 中間値 H32 | 目標値 H34 | 備考          |
|------------|--------|---------|---------|---------|-------------|
| イベント時の出店件数 | 0 件    | —       | 10 件    | 15 件    | ●イベント時の出店件数 |

#### ○住民意識調査による水辺空間の評価

| 指標         | 現状 H29 | 初年度 H30              | 中間値 H32   | 目標値 H34 | 備考                                        |
|------------|--------|----------------------|-----------|---------|-------------------------------------------|
| 水辺空間に対する評価 | (未計測)  | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>※ | 50%     | ●与那原町民で、水辺空間が「与那原町に観光客を迎えるにあたり望ましいと考える」割合 |

※平成 34 年度に水辺の空間が「与那原町に観光客を迎えるにあたり望ましいと考える」割合が 50% 以上になるよう設定。

#### ④MICE 開催拠点としての魅力を活かした交流拠点の創出

##### <基本目標>

##### ○MICE 産業請負数

| 指標         | 現状 H29 | 初年度 H30 | 中間値 H32 | 目標値 H34 | 備考            |
|------------|--------|---------|---------|---------|---------------|
| MICE 産業請負数 | 0 社    | —       | 10 社    | 20 社    | ●MICE 産業の請負件数 |

##### ○プログラム数

| 指標               | 現状 H29 | 初年度 H30 | 中間値 H32 | 目標値 H34 | 備考                         |
|------------------|--------|---------|---------|---------|----------------------------|
| アフター MICE プログラム数 | 0 件    | —       | 2 件     | 5 件     | ●アフター MICE プログラムで新規商品化した件数 |

#### ⑤沖縄で一番暮らしやすいまちづくり

##### <基本目標>

##### ○本町の定住人口

| 指標 | 現状 H29   | 初年度 H30 | 中間値 H32  | 目標値 H34  | 備考     |
|----|----------|---------|----------|----------|--------|
| 人口 | 19,568 人 | —       | 21,200 人 | 21,600 人 | ●本町の人口 |

※11 月末時点

##### <強化目標>

##### ○町民満足度

| 指標    | 現状 H29 | 初年度 H30              | 中間値 H32   | 目標値 H34   | 備考                            |
|-------|--------|----------------------|-----------|-----------|-------------------------------|
| 町民満足度 | (未計測)  | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>※ | (同左)<br>※ | ●与那原町民の観光の取組に対する「満足度評価」結果の平均値 |

※訪問者の満足度は、平成 30 年度に満足度を計測し、現状の満足要因や不満足要因を分析の後設定する。

##### ○観光消費額

| 指標    | 現状 H29 | 初年度 H30              | 中間値 H32   | 目標値 H34   | 備考                 |
|-------|--------|----------------------|-----------|-----------|--------------------|
| 観光消費額 | (未計測)  | (平成 30 年度に実態調査を行い策定) | (同左)<br>※ | (同左)<br>※ | ●本町訪問者の町内における観光消費額 |

※実態調査結果および、沖縄県の観光消費単価の目標を踏まえて設定する。

## 第5章 概算事業費の算出

本表は類似事例を参考に算出を行ったものです。概算事業費はあくまで目安であり、事業を実際に実施する場合は、再度積算を行う必要があります。

### 【戦略1】情報発信を通じた与那原のイメージの定着

| 事業名                         | 事業内容                                                                 | 概算事業費<br>(千円)    | 分担 |    |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------|----|----|
|                             |                                                                      |                  | 行政 | 民間 |
| 1-1 デジタル的な情報発信              | ①与那原ナビを活用した情報発信<br>②ソーシャルメディアを活用した情報発信<br>③SNS 等の数値分析等のマニュアルの作成・人材育成 | 60,000<br>(5 か年) | ○  |    |
| 1-2 アナログ的な情報発信              | ①テレビ、ラジオ、広告、旅行雑誌等による情報発信<br>②パンフレット・ガイドマップを通じた情報提供                   | 1,000<br>(3 か年)  | ○  |    |
| 1-3 MICE への取組を含む町内への啓発・広報活動 | ①ブランド価値の情報発信（インナープロモーション）<br>②電光掲示板による情報発信                           | 50,000<br>(5 か年) | ○  |    |
| 1-4 よなばるブランドの構築             | ①よなばるブランドの構築                                                         | 1,000<br>(1 か年)  | ○  |    |

### 【戦略2】独特な歴史・文化と新たな魅力を活かした新・与那原観光イメージ創出

| 事業名                        | 事業内容                                                             | 概算事業費<br>(千円)     | 分担 |    |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------|----|----|
|                            |                                                                  |                   | 行政 | 民間 |
| 2-1 大綱曳体験ツアー               | ①着地型体験プログラムの構築<br>②旅行会社等との連携による体験商品構築                            | 20,000<br>(4 か年)  | ○  |    |
| 2-2 「大綱曳」をテーマにした新規コンテンツの展開 | ①大綱曳をテーマにした体験メニューの構築<br>②大綱曳の全国大会や世界大会等の実施                       | 20,000<br>(4 か年)  | ○  |    |
| 2-3 食の魅力創出                 | ①与那原そばのブランド化<br>②新たな特産品の開発                                       | 15,000<br>(3 か年)  | ○  |    |
| 2-4 まちあるきガイド養成・コースの充実      | ①ガイドの養成<br>②まちあるきコースの充実<br>③まちあるきスポットの整備                         | 16,000<br>(4 か年)  | ○  |    |
| 2-5 拝所等文化資源の環境整備           | ①御殿山の環境整備<br>②親川の環境整備<br>③三津武嶽の改修・展望台の整備                         | 200,000<br>(4 か年) | ○  |    |
| 2-6 まちなみ環境の整備              | ①まちなみ環境整備に向けた方向性の合意<br>②まちなみ環境の整備<br>③公共空間の美装化や緑化整備、民間建築物の修景等の促進 | 45,000<br>(5 か年)  | ○  |    |
| 2-7 軽便駅舎の観光交流拠点に向けた取組      | ①施設の充実<br>②情報発信<br>③軽便与那原駅舎復活まつりの実施                              | 28,000<br>(4 か年)  | ○  |    |
| 2-8 既存の建物を活用した事業所誘致        | ①既存の倉庫を商業施設やレストラン等への再構築（リノベーション）による活用                            | 12,000<br>(3 か年)  | ○  |    |
| 2-9 多言語対応の環境整備             | ①調査及び対応すべき課題の特性<br>②対応策の検討・実施<br>③意識啓発                           | 40,000<br>(4 か年)  | ○  |    |

【戦略3】東海岸の特性及び地域の水資源を活かした新たなマリンレジャー及びウォーターフロント創出

| 事業名                      | 事業内容                                                                  | 概算事業費<br>(千円)    | 分担 |    |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------|----|----|
|                          |                                                                       |                  | 行政 | 民間 |
| 3-1 水路を活かした観光プログラムの構築    | ①カヌー乗船体験プログラムの構築<br>②水路周辺への飲食店等の誘致による賑わいの創出<br>③（共通）上記施策を実現するための環境整備  | 25,000<br>(5 か年) | ○  | ○  |
| 3-2 夜の飲食街活性化のための取組       | ①飲食店の体制拠点化<br>②与那原らしい食のメニュー開発<br>③夜の回遊プログラムの創出                        | 20,000<br>(4 か年) | ○  | ○  |
| 3-3 地域活性化イベントの支援事業       | ①新規支援事業の検討実施<br>②既存支援事業の充実                                            | 12,000<br>(4 か年) | ○  | ○  |
| 3-4 与那原の水産物のブランド化        | ①水産物のブランディングの実施<br>②地産地消の推進                                           | 16,000<br>(4 か年) | ○  | ○  |
| 3-5 与那原マリーナ発マリンレジャーの創出   | ①マリンレジャーの導入検討<br>②設備・備品の充実<br>③マリーナ周辺の環境整備                            | 24,000<br>(3 か年) | ○  | ○  |
| 3-6 東海岸の特性を活かした早朝プログラム創出 | ①早朝プログラムの導入検討<br>②設備・備品の充実                                            | 10,000<br>(2 か年) | ○  | ○  |
| 3-7 西原町と連携したきらきらビーチの活用推進 | ①協働イベントの企画・実施<br>②協働策検討体制の構築                                          | 6,000<br>(2 か年)  | ○  | ○  |
| 3-8 クルーズ客のニーズに対応する仕組みの構築 | ①クルーズ客ニーズ調査<br>②民間事業者と連携したおみやげ、観光メニューの開発<br>③クルーズ船から陸への搬送、陸内周遊の仕組みづくり | 10,000<br>(2 か年) | ○  | ○  |

【戦略4】MICE開催拠点としての魅力を活かした交流拠点創出

| 事業名                        | 事業内容                                                              | 概算事業費<br>(千円)    | 分担 |    |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------|----|----|
|                            |                                                                   |                  | 行政 | 民間 |
| 4-1 大型 MICE 施設周辺整備         | ①グリーンパス<br>②宿泊施設の誘致<br>③無電柱化<br>④サイン看板                            | 50,000<br>(5 か年) | ○  |    |
| 4-2 MICE マネジメント力強化         | ①大型 MICE 施設の動向を踏まえた、開業に向けた地元事業所の参画増加と連携<br>②ニーズに合ったサービスの提供        | 15,000<br>(5 か年) |    | ○  |
| 4-3 MICE プログラムに対応したメニューの充実 | ①地域で提供できるメニューのブラッシュアップ<br>②メニューのモニタリング及び商品化                       | 25,000<br>(5 か年) | ○  | ○  |
| 4-4 広域的な観光商品の開発            | ①サンライズ4町村の観光資源洗い出し<br>②MAPの作成<br>③アフターMICE メニューの開発<br>④広域 DMO の検討 | 25,000<br>(5 か年) | ○  |    |



【戦略5】沖縄で一番暮らしやすいまちづくり

| 事業名                         | 事業内容                                                                | 概算事業費<br>(千円)    | 分担 |    |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------|----|----|
|                             |                                                                     |                  | 行政 | 民間 |
| 5-1 民泊事業の推進                 | ①民泊事業の充実                                                            | 6,000<br>(3 か年)  | ○  |    |
| 5-2 観光地美化活動                 | ①軽便駅舎や道路沿い等の定期的な草刈り                                                 | 4,000<br>(4 か年)  | ○  |    |
| 5-3 観光危機管理                  | ①地域事業所や近隣市町村、県と連携した災害時のマニュアルの策定                                     | 8,000<br>(2 か年)  | ○  |    |
| 5-4 レンタサイクル等での<br>域内交通の充実   | ①域内交通の充実に向けた検討<br>②レンタサイクルの導入<br>③サイクリングロードの整備計画                    | 21,000<br>(3 か年) | ○  | ○  |
| 5-5 スポーツツーリズムの<br>推進        | ①観光交流施設でのスポーツイベント等の<br>開催促進<br>②スポーツキャンプ等の誘致の検討                     | 30,000<br>(3 か年) | ○  | ○  |
| 5-6 ユニバーサルデザイン<br>による受入環境整備 | ①子育て世代等が憩い、安心して楽しめる<br>環境整備の推進<br>②障がい者等も暮らしやすい町のイメージ<br>創出のためのイベント | 16,000<br>(3 か年) | ○  |    |

## 第6章 推進体制

### 6.1 与那原町観光実施計画の推進体制

これまでに取り組んできた町内の観光に関する取組を継続しつつ、今後の更なる発展を実現していくために、行政や今後設立される「与那原町観光協会」だけでなく、観光関連団体、観光関連事業者、町民などが目指すべき観光の将来像を共有し、相互に連携・協力ができるよう、各主体が果たすべき役割を位置付けます。

行政は、役場内の関係部局との連携を図り、横断的な推進体制を構築するとともに、国・県をはじめ町内の観光関係者との協議・調整を進め、総合的な施策の実現を目指します。

観光関連団体は、町や観光関連事業者等との連携体制を構築し、情報発信や誘客促進のためのPR活動を行います。

観光関連事業者は、観光振興の担い手として、観光客やビジネス客のニーズを的確に捉え、質の高い製品やサービスを提供することで本町の産業を盛り上げていきます。

町民・町民団体は、本町の観光資源や自らの暮らし等に誇りを持ち、おもてなしの心を持って観光客との交流を深めます。また、町民一人ひとりが観光まちづくりの一員として、観光振興に向けた取組に積極的に参画します。

＜更なる観光振興の実現に向けた実施体制のイメージ図＞



## 6. 2 与那原町及び周辺地域における観光推進体制強化

### (1) 与那原町観光協会設立の検討

大型 MICE 施設整備を契機として本町のツーリズムを取り巻く環境は大きく変化しています。今後、ツーリスト受入のためのコンテンツを生み出しながら、持続的にツーリストを受け入れて効果を生み出して行くためには、地域としてのブランド形成や情報発信、受入の推進を行う専門組織を立ち上げて取組を進めていく必要があります。

地域としてのマーケティングやマネジメントの能力を高め持続的な取組としていくため、ツーリズムを通じて地域の稼ぐための能力を強化し、地方自治体が苦手とする部分である「時代のニーズを敏感にキャッチし、スピーディーかつ柔軟な対応」が取れる組織として観光協会の設立及び、「地域 DMO」として機能の強化を図ることを検討します。

○観光協会に求められる役割

- ①総合的推進母体
- ②観光の数値的データの計測
- ③データに基づいた効果の検証、戦略の立案
- ④情報発信
- ⑤観光メニュー、観光商品開発
- ⑥人材育成（インバウンド含む）
- ⑦イベントの実施
- ⑧案内所運営
- ⑨観光施設の指定管理

○観光協会に求められる組織力と人材力

- ①観光に精通したプロフェッショナルな能力
- ②自主事業収入による運営能力
- ③データに基づいた課題提示や戦略の立案能力
- ④柔軟な発想力や実践力

○観光協会の設立に向けたスキーム

- 平成 30 年 観光協会設立準備委員会  
観光協会設立準備室（役場観光商工課内）  
（人材の確保、予算の確保等）
- 平成 31 年 観光協会設立
- 平成 33 年 広域的な観光組織の確立

## （２）観光人材の育成

ツーリズムに関わる産業を地域産業として根付かせて行くためには、安定期な収益を確保し、雇用を安定的に確保するとともに、一定の社会的なステータスや所得が確保できるよう取組の強化が必要となります。特にツーリスト産業は人が基幹的な要素となることから、人材育成を行い、地域産業としての強化を図り、安定的な収益を生み出すような正のスパイラルを生み出して行く必要があります。

ツーリスト産業のなかでの人材育成に加えて、沖縄女子短期大学等の教育機関等との連携による地域における人材育成を図ります。

○想定される人材育成

- ①受入事業者（語学、観光ニーズ抽出力及び商品開発力）
- ②住民（語学、おもてなしマナー、本町の特色や魅力）

## （３）参加・協働の推進

ツーリズム産業の効果として、地域経済への貢献を意味する経済的な効果の他に、ツーリストを地域に迎え入れることを通じて、地域住民がわが町の誇りを感じ、ツーリストとのふれあいを通じてやりがいを感じるような「社会的な活性化」が見逃せない観点として存在しています。

また、近年のツーリストのニーズとしてより地域の住民の生活に近い体験が望まれる傾向にあり、こういった側面からも、町民の積極的な参加・協働がツーリズムの振興において重要な要素となります。今後は町民の参加・協働がより一層促進され、観光まちづくりが推進されるよう取組を検討します。

## （４）広域連携体制の構築

ツーリストは本町のみを訪れるのではなく、周辺地域も含む広域的な周遊に対するニーズを有していると考えられます。こういったニーズに応えるためには、地域間で連携を図りつつ、取組を進めていくことが必要となります。

大型 MICE 施設を中核とした、「東海岸地域サンライズ推進協議会」による連携や、クルーズ船の受入を見据えた「中城湾地域振興協議会」、南部地域からの周遊観光の強化、多くの観光客が訪れている那覇都市圏等との広域連携を推進していきます。





## 参考資料

1. 与那原町の観光資源
2. 与那原町観光計画等策定委員会
3. 与那原町観光実施計画策定スキーム
4. 諮問
5. 答申
6. 与那原町の未来を考えるアイデアソン
7. 与那原町大綱曳まつり来場者アンケート結果
8. 用語集

## 1. 与那原町の観光資源

本町には、史跡・名所等の多くの観光資源があります。また、スポーツ、公園・緑地、自然環境等、多方面に及んでいます。

以下に主な観光資源をまとめます。

### ＜主な観光資源＞

|       | 主な観光資源                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                      |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 史跡・名所 | ●親川（うえーがー）<br>        | ●御殿山（うどうんやま）<br>                                                                                                                                                                          | ●三津武嶽（みちんだき）<br>  |
|       | ●久葉堂（くふあどう）<br>      | ●阿知利世主（あちりゆーぬし）<br>                                                                                                                                                                      | ●大アカギ<br>        |
|       | ●久茂久岩（くむくじー）<br>    | ●宗之増（そうぬまし）<br>                                                                                                                                                                         | ●前の井（めーぬかー）<br> |
|       | ●火の獅子（ふいーぬしーさー）<br> | ●まちなかの石獅子<br>   |                                                                                                      |

<主な観光資源>

|       | 主な観光資源                                                                                                 |                                                                                                          |                                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 歴史・文化 | <p>●聖クララ教会</p>        | <p>●与那原町立綱曳資料館</p>     | <p>●与那原町立図書館</p>        |
|       | <p>●与那原大綱曳</p>        | <p>●瓦工場</p>            | <p>●軽便鉄道（けいびんてつどう）</p>  |
|       | <p>●山原船（やんばるせん）</p>  | <p>●軽便与那原駅舎展示資料館</p>  | <p>●当添ハーリー</p>         |
| 公園・緑地 | <p>●マリンタウン東浜公園</p>  | <p>●きゅうりゅう広場</p>     | <p>●シーサー公園</p>        |
|       | <p>●与那原公園</p>       | <p>●上の森公園</p>        | <p>●与那古浜公園</p>        |



＜主な観光資源＞

|        | 主な観光資源                                                                                                   |                                                                                                        |                                                                                                                    |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スポーツ施設 | <p>●マリンタウン東浜野球場</p>     | <p>●テニスコート</p>       | <p>●パークゴルフ場</p>                 |
|        | <p>●マリンタウンゴルフ場</p>      | <p>●与那原ゴルフセンター</p>   | <p>●観光交流施設</p>                  |
| 観光・商業  | <p>●奥原崇仁陶芸ギャラリー</p>    | <p>●マリンプラザあがり浜</p>  | <p>●ファーマーズマーケット与那原あがりはま市場</p>  |
|        | <p>●西原・与那原マリンパーク</p>  | <p>●きらきらビーチ</p>    | <p>●与那原マリーナ</p>               |
| 景観     | <p>●運玉森の眺望</p>        | <p>●洪濟寺の眺望</p>     | <p>●雨乞森の眺望</p>                |
|        | <p>●当添漁港からの沿岸線</p>    | <p>●東浜水路</p>       | <p>●与那原商店街のまちなみ</p>           |



[illegible]

## 2. 与那原町観光計画等策定委員会

### (1) 与那原町観光計画等策定委員会設置規則

(趣旨)

第1条 与那原町の観光振興の重要性に鑑み、将来を見据えた与那原町の観光ビジョンを確立し、与那原町観光実施計画（以下「計画」という。）を策定するため、与那原町観光計画等策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は町長の求めに応じて次の各号に掲げる事項を所掌するものとする。

- (1) 与那原町観光ビジョン及び計画についての調査・検討
- (2) 現在の状況をふまえた与那原町観光計画の見直し
- (3) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員10名以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者の内から町長が委嘱または任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 商工業関係者
- (3) 国関係者
- (4) 沖縄県関係者
- (5) 与那原町副町長
- (6) 前各号に掲げる者のほか、町長が特に必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長1名、副委員長1名を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、公務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。ただし、最初にかれる会議については、本条の規定にかかわらず町長が招集する。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員長は、会議の議長となる。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(策定会議)

第7条 委員会に、下部組織として、策定会議を置く。

2 策定会議は、委員会の指示に基づき、計画に盛り込むべき事項を調査・検討し、その結果を委員会に報告するものとする。

3 策定会議の委員は次に掲げる課の課長補佐及び他職員をもってあてる。

- (1) 財政課
- (2) 企画政策課
- (3) 生涯学習振興課
- (4) 生活環境安全課
- (5) 農林水産課
- (6) まちづくり課
- (7) その他

4 策定会議に議長及び副議長を1人置く。

5 議長及び副議長は委員のうちから互選する。

6 策定会議の会議は必要に応じて議長が招集し、会議の議長となる。

(庶務)

第8条 委員会及び策定会議の庶務は、観光商工課において処理する。

(関係職員の協力業務)

第9条 町職員は、委員会運営に関する資料の提供、その他協力を求められたときは、これに応じなければならない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

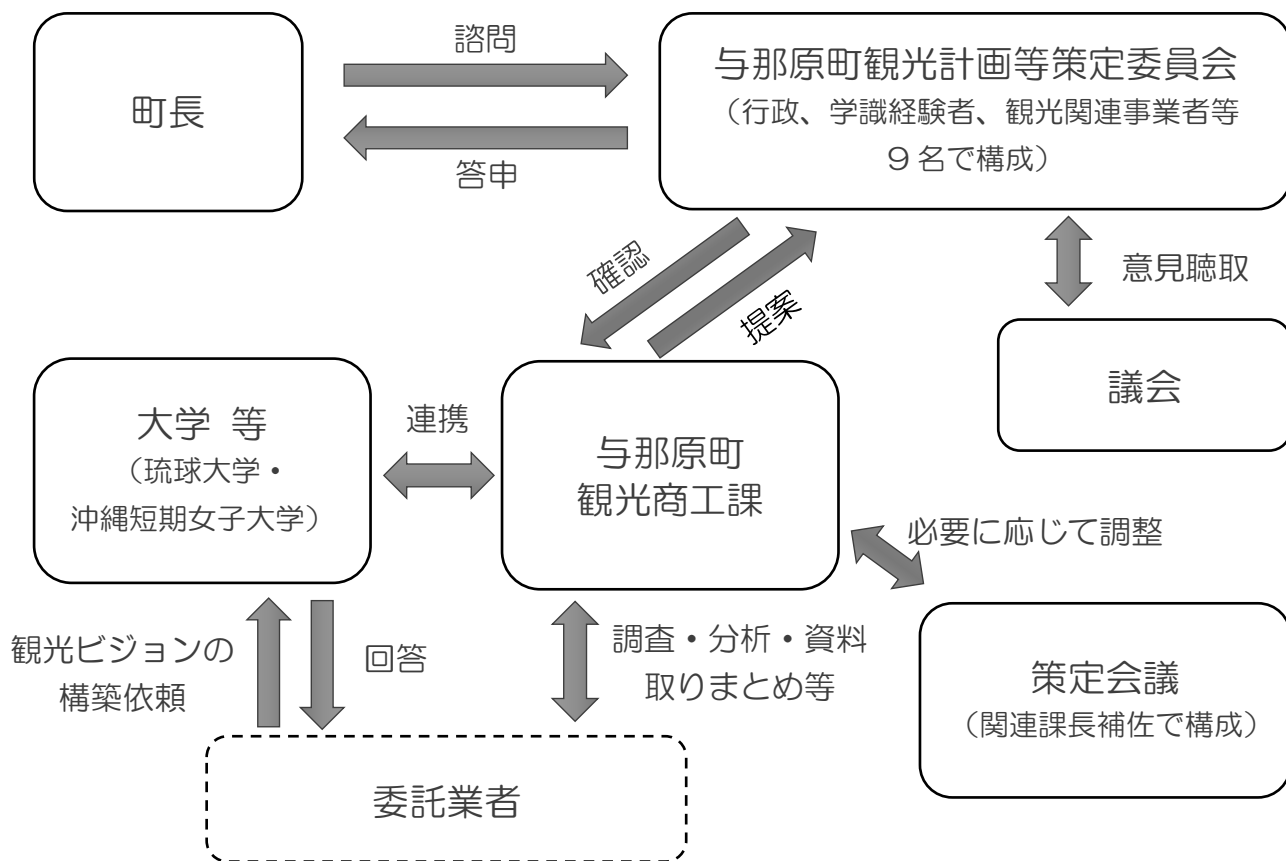
この規則は、公布の日から施行する。



## (2) 与那原町観光計画等策定委員会 委員名簿

|     | 氏名                       | 所属組織                                    | 役職   | 備考      |
|-----|--------------------------|-----------------------------------------|------|---------|
| 1   | シモジ<br>下地 ヨシロウ<br>芳郎     | 琉球大学 観光産業科学部                            | 学部長  | 学識経験者   |
| 2   | アリマ<br>有馬 リョウイチ<br>良一    | 与那原町商工会 TTM 部会                          | 部会長  | 商工業関係者  |
| 3   | コヤナギ<br>小柳 ミエコ<br>美枝子    | 内閣府沖縄総合事務局<br>運輸部 企画室                   | 室長   | 国関係者    |
| 4   | ヤマシロ<br>山城 ケンイチロウ<br>憲一郎 | 沖縄県文化観光スポーツ部<br>観光整備課 MICE リゾート班        | 班長   | 沖縄県関係者  |
| 5   | カガタニ<br>加賀谷 ヨウヘイ<br>陽平   | 沖縄観光コンベンションビューロー<br>受入事業部               | 部長   | 観光関連事業者 |
| 6   | ウチマ<br>内間 マイ<br>舞        | 沖縄女子短期大学                                | 学生   | 町民      |
| 7   | トナキ<br>渡名喜 イクオ<br>郁夫     | 琉球銀行 与那原支店                              | 支店長  | 民間事業者   |
| 8   | タマキ<br>玉城 クニヒロ<br>国博     | 沖縄ツーリスト株式会社<br>教育旅行・スポーツ&<br>コンベンション推進部 | 室長   | 民間事業者   |
| 9   | テルヤ<br>照屋 ツトム<br>勉       | 与那原町                                    | 副町長  | 行政関係者   |
| 事務局 |                          |                                         |      |         |
|     | ヒガ<br>比嘉 ヨシアキ<br>義明      | 与那原町観光商工課                               | 課長   | 行政関係者   |
|     | ヒガ<br>比嘉 タケシ<br>武志       | 与那原町観光商工課                               | 課長補佐 | 行政関係者   |
|     | ミヤヒラ<br>宮平 サチカ<br>祥加     | 与那原町観光商工課                               | 主事   | 行政関係者   |
|     | チネン<br>知念 チサト<br>千沙里     | 与那原町観光商工課                               |      | 行政関係者   |

### 3. 与那原町観光実施計画策定スキーム



## 4. 諮問

与観商第 107-1 号  
平成 29 年 7 月 4 日

与那原町観光計画等策定委員会

与那原町長 古 堅 國 雄

与那原町観光実施計画（案）について（諮問）

標記の件について、下記事項の与那原町観光実施計画（案）を策定しましたので、貴策  
定委員会に諮問します。

記

名 称       ： 与那原町観光実施計画

## 5. 答申

与 観 委 第 1 号  
平成 30 年 2 月 16 日

与那原町長 古 堅 國 雄 殿

与那原町観光計画等策定委員会  
委員長 下 地 芳 郎

### 与那原町観光実施計画（案）について（答申）

平成 29 年 7 月 4 日付け与観商第 107-1 号で与那原町観光計画等策定委員会に諮問のあった与那原町観光実施計画（案）について、下記の通り答申いたします。

#### 記

1. 本策定委員会の過程で多岐にわたる提案がなされており、その趣旨を踏まえ、今後の行政運営において活かされるよう要望いたします。
2. 計画の実効性を確保し、与那原町の観光の礎となる部分を強化すべく、本計画の重点事項の取組について注力し、効率的で効果的な観光行政を推進するよう要望いたします。
3. 本計画について町民や町内事業者等の理解を深め、共通の活動指針とするため、広く周知を図られるよう要望いたします。
4. 観光振興に務めるに当たり、観光客のニーズに合わせて周辺地域間で連携を図り、広域的な取組による効果的な施策の実施を要望いたします。



## 6. 与那原町の未来を考えるアイデアソン

### (1) 開催概要

- 開催日：2017年7月9日
- テーマ：10年後、与那原町が観光地として選ばれるために何が必要か？
- 参加者：39名（学生10名、社会人29名）
  - 学生：琉球大学、沖縄女子短期大学、キリスト教短期大学、首里高校
  - 社会人：役場関係者（与那原町、西原町）、商工会（与那原町、西原町）、沖縄観光コンベンションビューロー、JNTO、沖縄富士通システムエンジニアリング等
- キーノートスピーカー3名
  - 与那原町役場総務課長 上原丈二氏（元観光商工課課長）
  - 神戸市改革調整局創造都市推進部 ICT 創造・事業推進担当係長 長井伸晃氏
  - 富士通株式会社グローバルマーケティング部門）河合美香氏
- 審査員6名
  - キーノート 上原氏、長井氏
  - 琉球大学観光産業科学部・学部長 下地先生
  - 内閣府沖縄総合事務局・運輸部・企画室長 小柳氏
  - 沖縄富士通システムエンジニアリング 内田社長、川津取締役

### (2) タイムテーブル

- |                                                                                                                                 |                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ■ オリエンテーション 9:00～<br>○講師紹介                                                                                                      | ■ アイデアソン 12:50～<br>○スピードストーミング<br>○アイデアスケッチ<br>○チーミング |
| ■ キーノート 9:30～<br>○ゲストスピーチ（20min×3名） <ul style="list-style-type: none"><li>・与那原町）上原氏</li><li>・神戸市）長井氏</li><li>・富士通）河合氏</li></ul> | ■ 発表準備 14:10～<br>○プロトタイプ・プレスリリース作成                    |
| ■ テーマ【関連 INPUT】 11:05～<br>○MICE の話                                                                                              | ■ 発表 16:00～                                           |
| ■ 課題討議 11:15～<br>○ワールドカフェ                                                                                                       | ■ 意見交換会 17:00～<br>○グラレコ振り返り<br>○アンケート<br>○記念撮影・参加賞配布  |
| ■ ～休憩～ 11:50～                                                                                                                   |                                                       |

### (3) アイデアソンの様子



### (4) 各チームのアイデア概要

#### ■チーム「ゆんたくはんたく」



【与那原町をひとつの宿に】

個々の民宿や食堂を巡る「与那原の街全体をひとつ」に見たてた宿泊・観光案内サービス！！

#### ■チーム「チームONSEN」 ★Fujitsu賞



【与那原に温泉を】

与那原に温泉を掘り、ICTを使って、各家庭、各人にあった温泉を提供します。

#### ■チーム「水路沿いにカフェをつくろうの会24」



【水路沿いにカフェを】

与那原の水路沿いにカフェを誘致し、オシャレな町づくりを行います。

#### ■チーム「恋人はおばあ〜」



【おばーバス】

おばーの手料理を堪能。ガイドブックには載っていない魅力的な場所へ案内します！

#### ■チーム「まいあいであい」



【YONABARU365】

「海を年中無休に！」をテーマにマリンスポーツや屋形船、グランピング等のアクティビティで知名度、集客力の向上を！！

#### ■チーム「ぬ〜ぼる」 ★準グランプリ賞



【Art Museum】

古民家などの空家を安く提供し、アーティスト（画家、写真家、音楽家など）を移住させ町を活性化！！

#### ■チーム「よなよな〜」



★グランプリ賞

【水路を活用した観光地】

与那原町の水路沿いに、オシャレなカフェや居酒屋などを建て屋形船で水路を周遊！！

## 7. 与那原町大綱曳まつり来場者アンケート結果

### 「与那原大綱曳まつり」アンケート調査結果の概要

#### 1. 目的

与那原大綱曳まつりの来訪者の属性やニーズについて把握するため、アンケート調査を実施した。

#### 2. 実施概要

##### (1) 日時

2017年8月19日（土）、20日（日） 15時～21時

##### (2) 場所

与那原町御殿山青少年広場（与那原大綱曳まつりメイン会場）

##### (3) 対象

与那原大綱曳まつり来場者

##### (4) 実施方法

- ・インタビューボードを用いたアンケート調査を実施した。
- ・平行して来訪者に対するニーズのヒアリングを実施した。

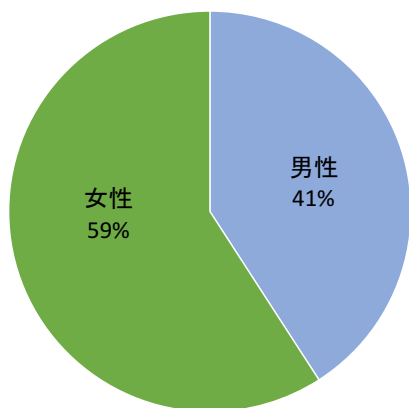
##### (5) 設問項目

- |                             |
|-----------------------------|
| ①基本属性（性別、年齢、地域）             |
| ②来訪回数                       |
| ③与那原大綱曳まつりの情報原              |
| ④来訪目的                       |
| ⑤同行者                        |
| ⑥その他（改善点、決定時期、満足度） ※ヒアリング事項 |

### 3. 実施結果概要

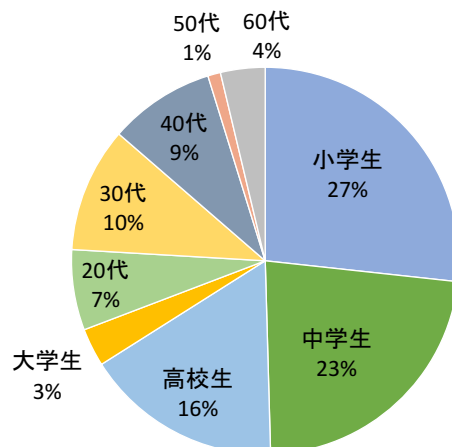
○性別は、女性が59%と多く、男性が41%であった。  
 ○年代は、小学生が27%と最も多く、次いで中高生23%、高校生16%であった。  
 ○住まいは、町内からが49%と最も多く、次いで県内からが42%、県外からが7%であった。  
 ○来訪目的は、出店が26%と最も多く、次いで大綱曳22%、花火21%であった。  
 ○まつりの情報源は、口コミが50%と最も多く、次いでポスター16%、テレビ10%であった。  
 ○満足度は、「次回もぜひ来たい」「来たい」が96.7%であった。

性別



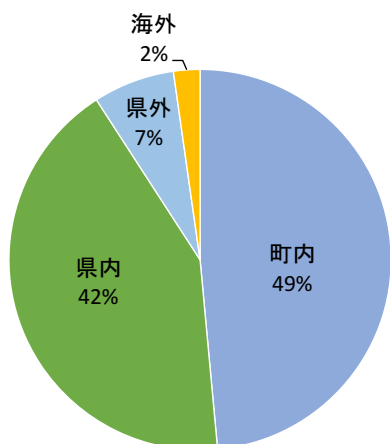
n=565

年代



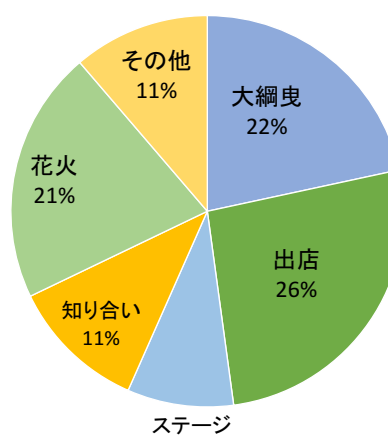
n=565

住まい



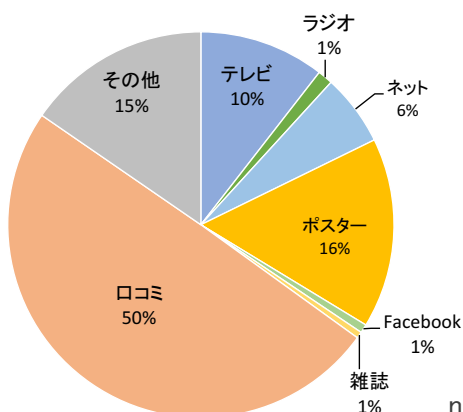
n=581

来訪目的



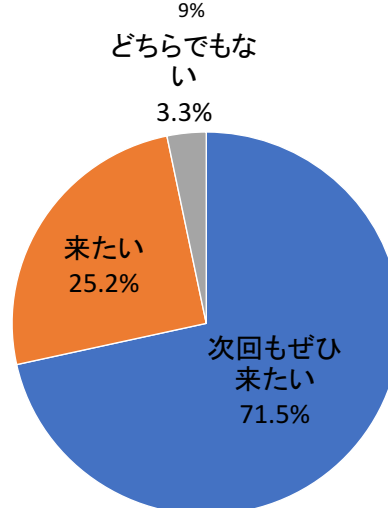
n=560

情報源



n=552

満足度



n=123



## 8. 用語集

- アクティビティ  
旅行先での体験や遊び。
- ICT  
Information and Communication Technology の略。情報伝達技術を指し、コンピューターの機能やデータ通信に関する技術を活用して、情報・知識の共有を行うこと。
- IoT  
Internet of Things の略。従来は主にパソコンやサーバー、プリンタ等の IT 関連機器が接続されていたインターネットにそれ以外の様々なモノを接続すること。
- インバウンド  
海外から日本へ来る旅行。
- AI  
Artificial Intelligence の略。人工知能を意味する。人間の脳が行っている自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするような知的な作業をコンピュータで模倣したシステム等のこと。
- SNS  
Social Network Service の略。登録された利用者同士が交流できるインターネット上のサービス。
- LCC  
Low Cost Carrier の略。低コストかつ高頻度の運航を行うことで低運賃の航空サービスを提供する航空会社。
- キャッシュレス  
銀行口座への振り込みやクレジットカード・電子マネーによる支払いのように、現金取引をせずに決済がなされること。
- クルージング  
定期的な航送とは異なり、豪華客船等で周航し、船旅を楽しむツアーや遊び。
- コンテンツ  
来訪した観光客に対する地域の魅力発信を行う要素。

- SUP

Stand Up Paddleboard の略。サーフボードの上に立ってパドルを使い海の上を漕いで遊ぶスポーツ。

- ソーシャルメディア

情報発信技術を用いて、誰もが相互に情報を交換できるように設計された媒体。

- チームビルディング

ある組織のメンバーが主体的に自分らしさ、多様性を発揮しつつ、相互に関わりながら一丸となって共通のゴールを達成しようとチャレンジする取組。企業研修の一環として行われることが多く、MICE の受入との関連性が深い。

- ツーリズム

レジャーやビジネス等の目的で、旅行したり、滞在したりする人々の活動や、訪問地で報酬を得ない諸活動のこと。

- デジタルマーケティング

インターネットを活用した市場調査や市場創造のための活動のこと。

- DMO

Destination Management／Marketing Organization の略。地域と協同して、各種調査、マーケティング、商品造成、プロモーション等を一体的に実施する組織体。

- ビッグデータ

一般的なデータ管理・処理ソフトウェアで扱うことが困難なほど巨大で複雑なデータの集合を表す用語。

情報通信技術の進展により生成・収集・蓄積等が可能になる大量かつ多種多様なデータのことで、これを活用する事により、利用者のニーズに即したサービスの提供を可能にしたり、業務の付加価値を向上する。例えばソーシャルメディアにおいて参加者が書き込むコメントやプロフィール等もその一つである。

- ブランド

個別の売り手もしくは売り手集団の商品やサービスを識別させ、競合他社の商品やサービスから差別化するための名称、言葉、記号、シンボル、デザイン、あるいはそれらを組み合わせたもの。

- MICE

企業会議(Meeting)、企業の報奨・研修旅行(Incentive)、国際会議(Convention/Conference)、展示会・イベント(Exhibition/Event)の総称。

- リピーター

買い物や旅行の際に、同じ店や同じ場所を何度も利用したり、訪問したりする人。

- ユニバーサルデザイン

全ての人にとって不自由なく利用することができる施設・製品・情報の設計。

- ワークショップ

ある主題について参加者が意見を発表し合い、知識を分け合う集会。

- Wi-Fi

パソコンやテレビ、スマホ、タブレット、ゲーム機等のネットワーク接続に対応した機器を、無線で処理できるネットワークに接続する技術。

=====

- 中城湾地域振興協議会

中城湾地域の魅力あるまちづくりを推進し、地域活性化の拠点として個性と賑わいのあるまちの形成を促進することを目的に、中城湾に面する 7 市町村（南城市、沖縄市、うるま市、与那原町、西原町、中城村、北中城村）で構成する協議会。

- 東海岸地域サンライズ推進協議会

本島東海岸地域の大型 MICE 施設をはじめとしたインフラ整備や、地域活性化に取り組むことを目的に、4 町村（与那原町、西原町、中城村、北中城村）で構成する協議会。

# 与那原町観光実施計画

2018 - 2022

平成 30 年 2 月

発行：与那原町役場

〒901-1392 沖縄県島尻郡与那原町字上与那原 16 番地

<http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/>

編集：観光商工課

TEL 098-945-5323 FAX 098-946-6074